

扶桑町
こども・若者の生活実態・意識調査
結果報告書

令和6年10月

扶桑町

－ も く じ －

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査方法等	1
3	回収結果	1
4	調査・分析にあたって	1

第2章 調査結果

1	回答者の属性	
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	同居者	4
(4)	最後に卒業（または中退）した学校、現在通っている学校	4
(5)	就学・就業状況	5
2	現在の生活	
(1)	幸福感	6
(2)	現在の生活に満足しているか	7
(3)	現在の生活で満足していること	8
(4)	現在の生活で不満に思っていること	9
(5)	回答者自身について	10
3	居場所について	
(1)	居場所になっていると思う場所について	15
(2)	どのような居場所があれば行ってみたいか	22
4	人とのかかわり	
(1)	家族・親族とのかかわり	23
(2)	学校で出会った友人とのかかわり	24
(3)	職場・アルバイト関係の人とのかかわり	25
(4)	地域の人とのかかわり	26
(5)	インターネット上における人やグループとのかかわり	27

(6) 普段どのくらい外出するか	28
(7) 外出をしなくなったきっかけ	29
(8) 普段から外出をしなくなってからの期間	29
5 こども・若者の意見反映	
(1) 町行政に対して自分の意見を伝えたいと思ったことはあるか ..	30
(2) 町に対して意見を伝えやすい方法	31
6 住みやすいまちについて	
(1) 扶桑町は住みやすいか	32
(2) こどもや若者が暮らしやすくなるために必要なこと	33

第3章 自由意見

1 行政について	34
2 子育て支援	35
3 経済的援助	36
4 就労について	36
5 地域の活性化・交流	36
6 生活環境	36
7 移動・交通	37
8 公共施設	38
9 商業施設	39

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「扶桑町こども計画」の策定にあたり、若い世代の住民の仕事や将来、居場所等に関する意見やニーズ、実態などを把握することを目的として実施しました。

2 調査方法等

調査対象者	令和6（2024）年7月1日現在、扶桑町に住んでいる15～29歳の方から無作為抽出
調査票の配布・回収	郵送配布・Web回答または郵送回収
調査期間	令和6（2024）年7月29日～8月16日

3 回収結果

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,000	217	216	21.6%

4 調査・分析にあたって

- 図表中のN（Number of Caseの略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。
- クロス集計の表やグラフを見やすくするため、性別、年齢などの比較対象となる項目の「無回答」を表示していません。したがって、比較対象となる項目の合計は全体の合計と一致しない場合があります。
- 複数回答が可能な質問の場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をします。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超えています。

○本報告書中の表、グラフ、本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略してある場合があります。

○属性不詳が次表のとおりあります。

性 別	年 齢
6	3

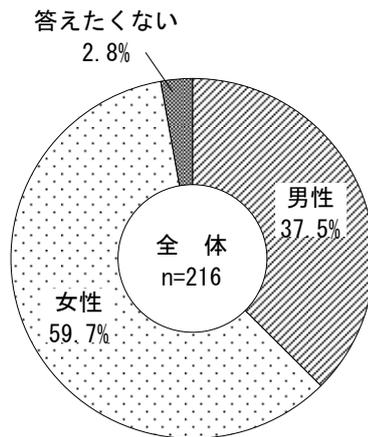
第2章 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が59.7%、「男性」が37.5%です。

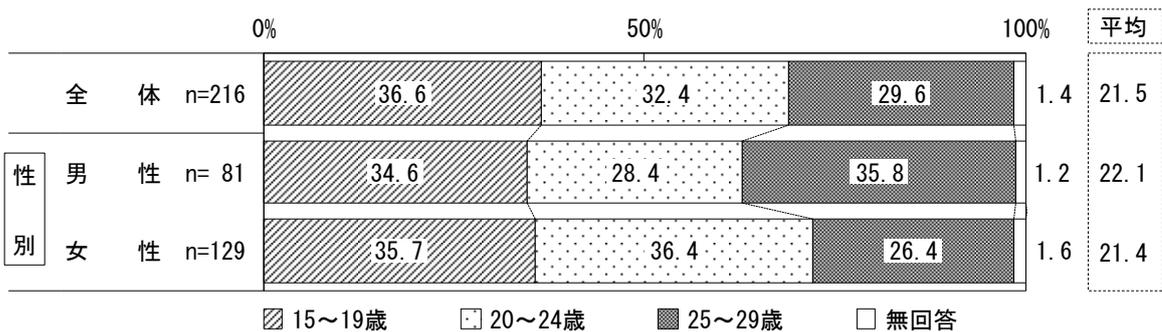
図表1 性別



(2) 年齢

回答者の年齢は、「15～19歳」が36.6%と最も高く、次いで「20～24歳」が32.4%、「25～29歳」が29.6%となっています。平均年齢は21.5歳です。

図表2 年齢

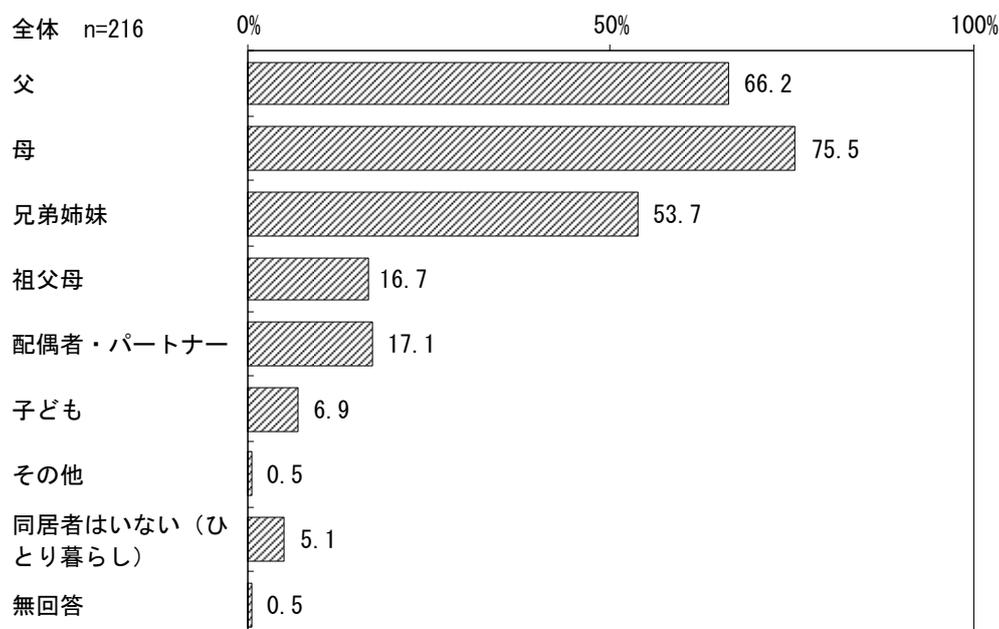


(3) 同居者

同居している人をたずねたところ、「母」が75.5%と最も高く、次いで「父」が66.2%、「兄弟姉妹」が53.7%などの順となっています。

「その他」として、「叔父」という記載がありました。

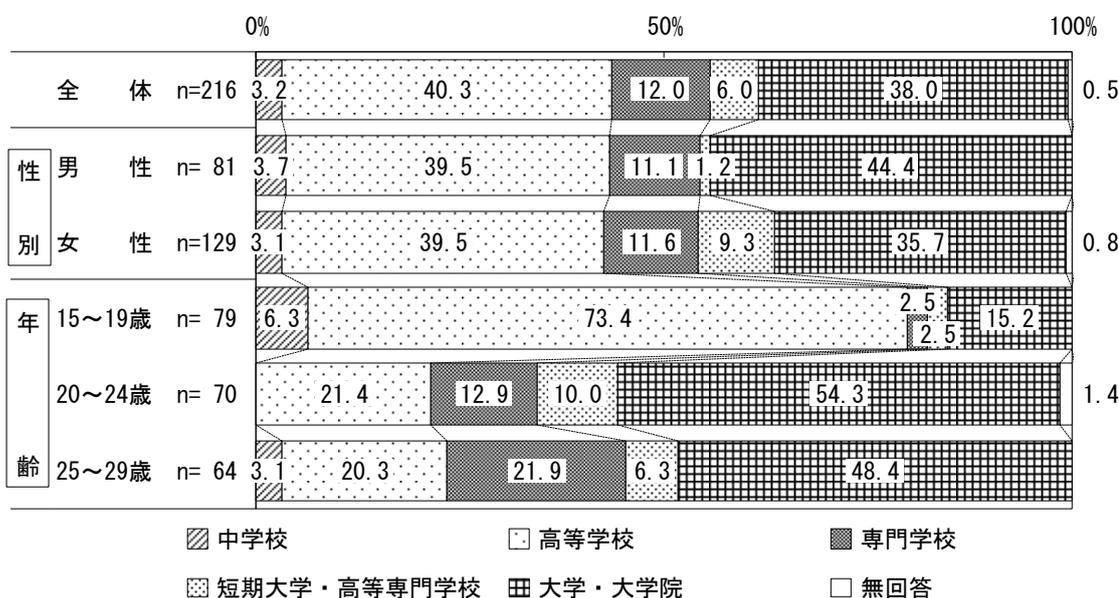
図表3 同居者（複数回答）



(4) 最後に卒業（または中退）した学校、現在通っている学校

「あなたが最後に卒業（または中退）した学校はどこですか。現在、学校に通っている方は、通っている学校をお答えください」という設問では、「高等学校」が40.3%と最も高く、次いで「大学・大学院」が38.0%などの順となっています。

図表4 最後に卒業（または中退）した学校、現在通っている学校



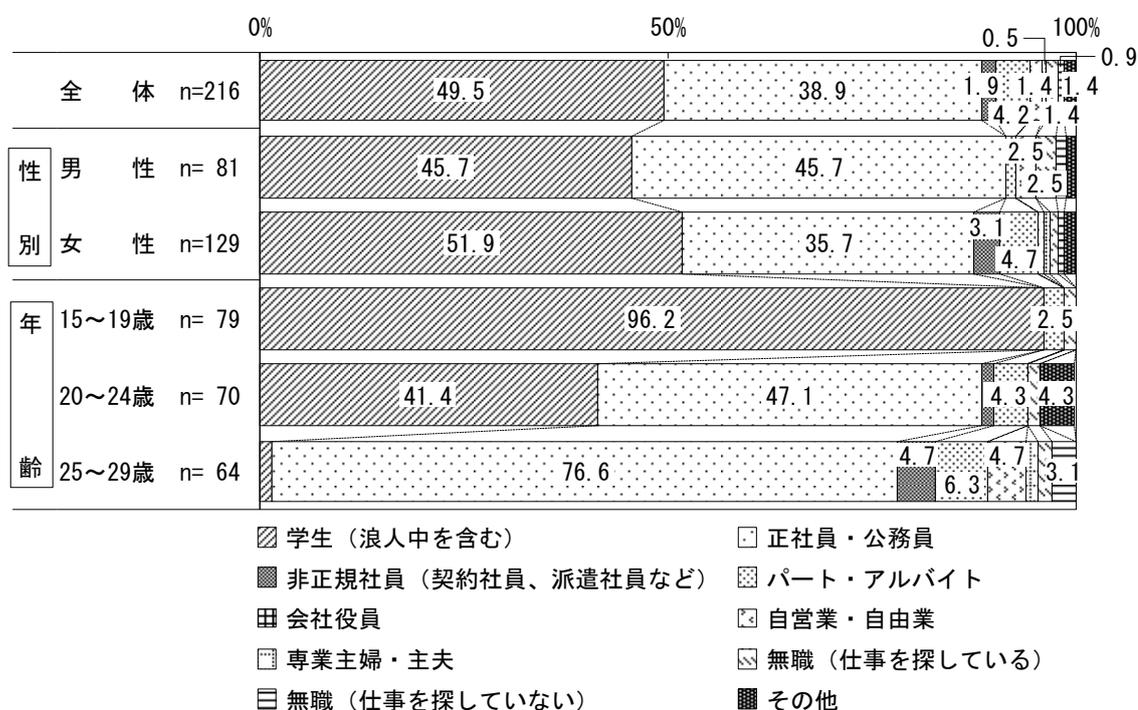
(5) 就学・就業状況

現在の就学・就業状況をたずねたところ、「学生（浪人中を含む）」が49.5%と最も高く、次いで「正社員・公務員」が38.9%などの順となっています。

年齢別にみると、当然ながら15～19歳は「学生（浪人中を含む）」が96.2%と高い率を占めており、年齢が上がるにつれて「正社員・公務員」等の就労している人の率が上昇しています。

「その他」として、「就労継続支援B型」、「育休中」、「福祉」という記載がありました。

図表5 就学・就業状況



注1：全体以外の2%未満の数値は省略している。
 注2：「会社役員」という選択肢が用意されていたが、回答はなかった。

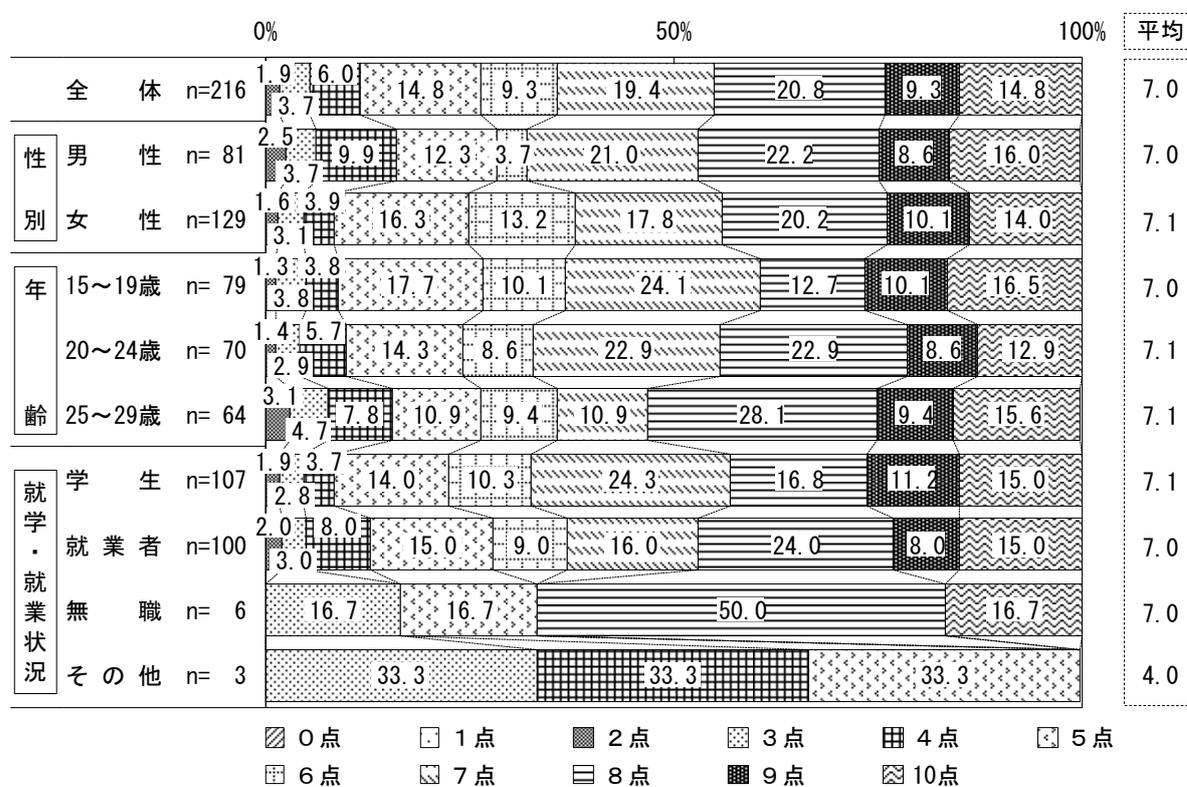
2 現在の生活

(1) 幸福感

「あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください」という設問では、「8点」が20.8%と最も高く、次いで「7点」が19.4%、「5点」および「10点」が14.8%などの順となっています。「0点」および「1点」という回答はありませんでした。平均点は7.0点です。

平均点を属性別にみると、基数の少ない就学・就業状況のその他を除き、概ね7.0点となっています。

図表6 幸福感



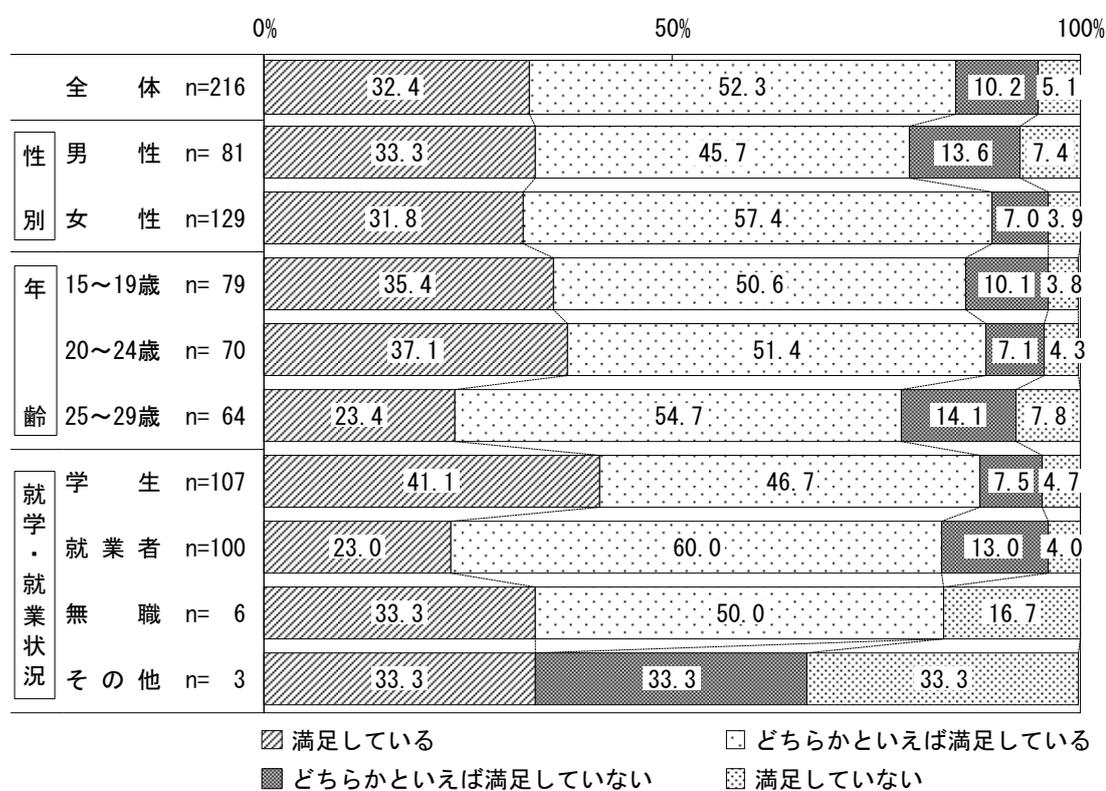
(2) 現在の生活に満足しているか

現在の生活に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」が52.3%と最も高くなっており、「満足している」(32.4%)との合計《満足している》が84.7%を占めています。

性別にみると、女性は男性に比べて《満足している》が10.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、25～29歳は他の年齢層に比べて《満足している》が低くなっています。

図表7 現在の生活に満足しているか



(3) 現在の生活で満足していること

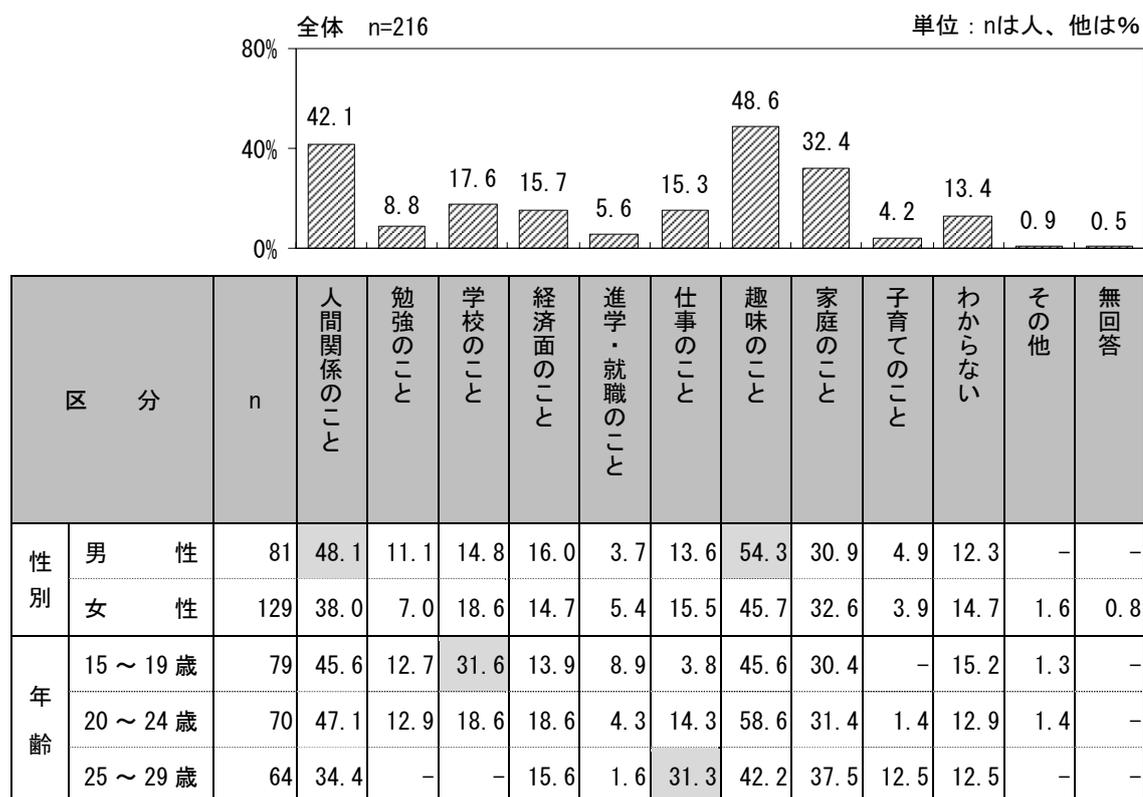
現在の生活で満足していることをたずねたところ、「趣味のこと」が48.6%と最も高く、次いで「人間関係のこと」が42.1%、「家庭のこと」が32.4%などの順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べ「人間関係のこと」および「趣味のこと」が5ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は「学校のこと」、25～29歳は「仕事のこと」がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっています。

「その他」として、「生活環境が整っており、快適に暮らすことができていること」「毎日食事したり、ベッドで寝たりすることができること」という記載がありました。

図表8 現在の生活で満足していること（複数回答）



(4) 現在の生活で不満に思っていること

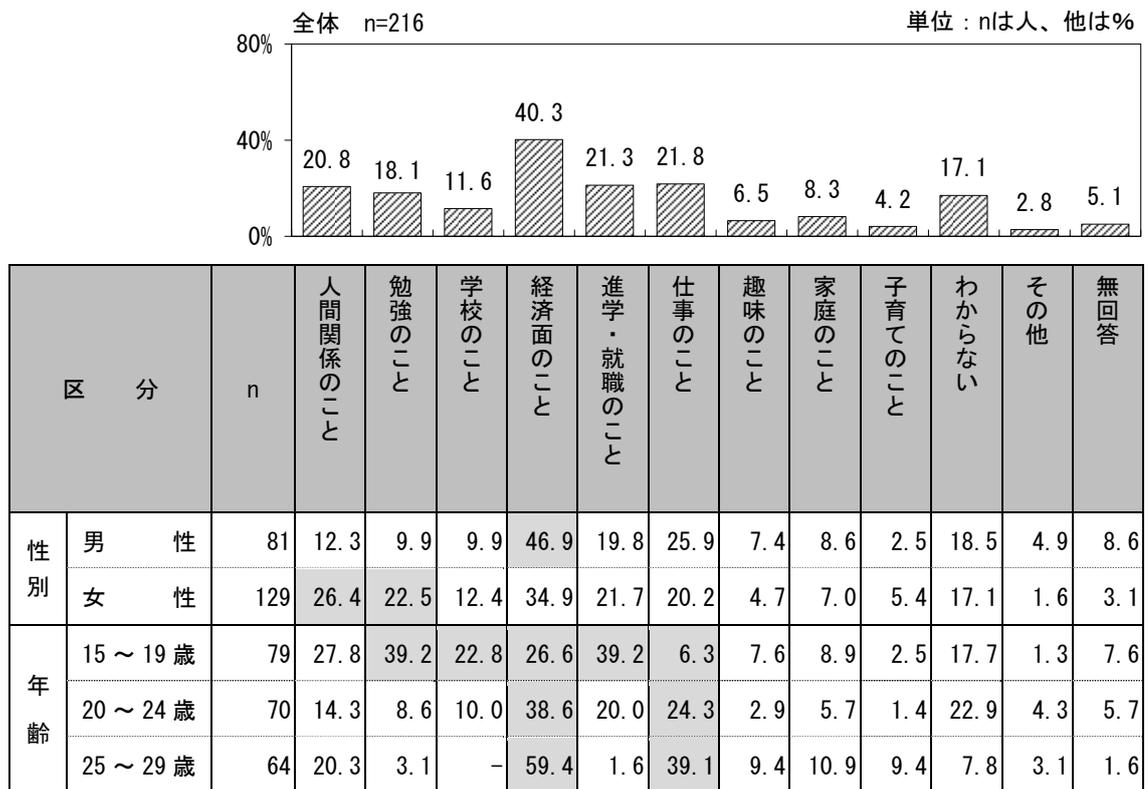
現在の生活で不満に思っていることをたずねたところ、「経済面のこと」が40.3%と最も高く、次いで「仕事のこと」が21.8%、「進学・就職のこと」が21.3%、「人間関係のこと」が20.8%などの順となっています。

性別により10ポイント以上の大きな差があるのは、男性が高い「経済面のこと」と、女性が高い「人間関係のこと」および「勉強のこと」です。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ「勉強のこと」、「学校のこと」および「進学・就職のこと」が高くなっています。また、年齢が上がるにしたがい「経済面のこと」および「仕事のこと」が上昇しています。

「その他」として、図表10の内容が記載されていました。

図表9 現在の生活で不満に思っていること（複数回答）



図表10 現在の生活で不満に思っていること（複数回答、その他）

- ・施設のこと
- ・病気
- ・近隣市町村に比べ粗大ゴミの料金がとても高い
- ・やせないこと

(5) 回答者自身について

次の①～⑤について、回答した人自身にあてはまるかどうかたずねました。

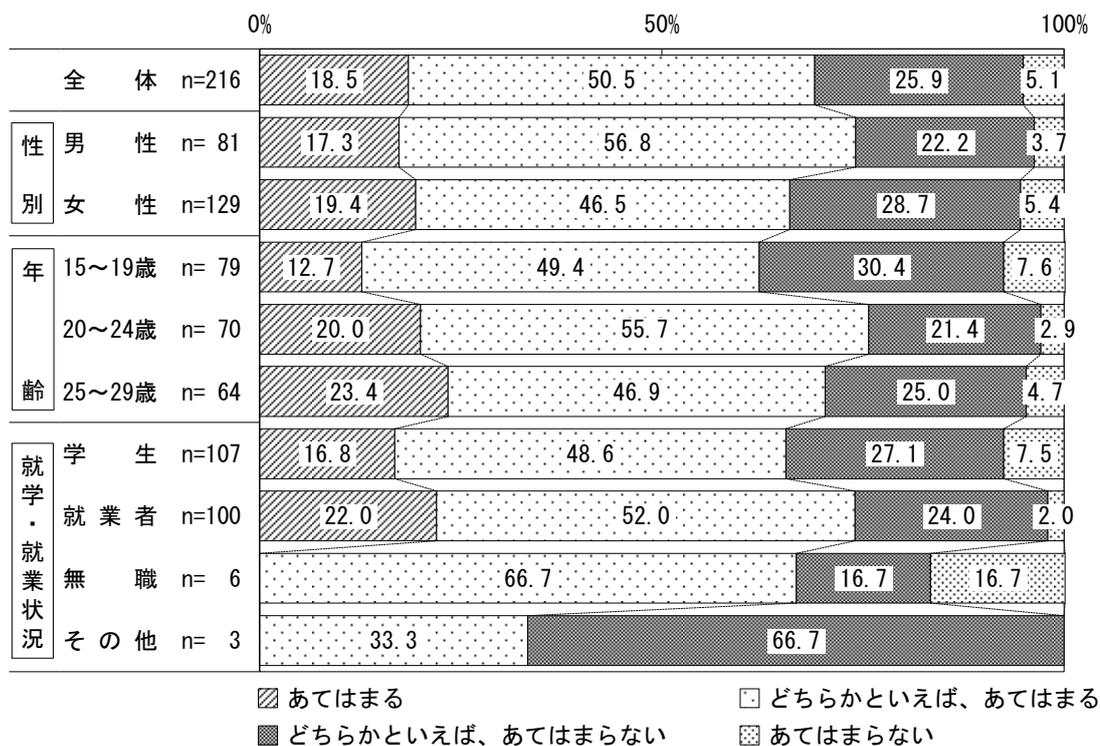
① 今の自分が好きだ

「どちらかといえば、あてはまる」が50.5%と最も高く、「あてはまる」(18.5%)との合計《あてはまる》が69.0%を占めています。「どちらかといえば、あてはまらない」(25.9%)と「あてはまらない」(5.1%)の合計《あてはまらない》は31.0%です。

性別にみると、男性は女性に比べ《あてはまる》が8.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《あてはまる》が低くなっています。

図表11 今の自分が好きだ



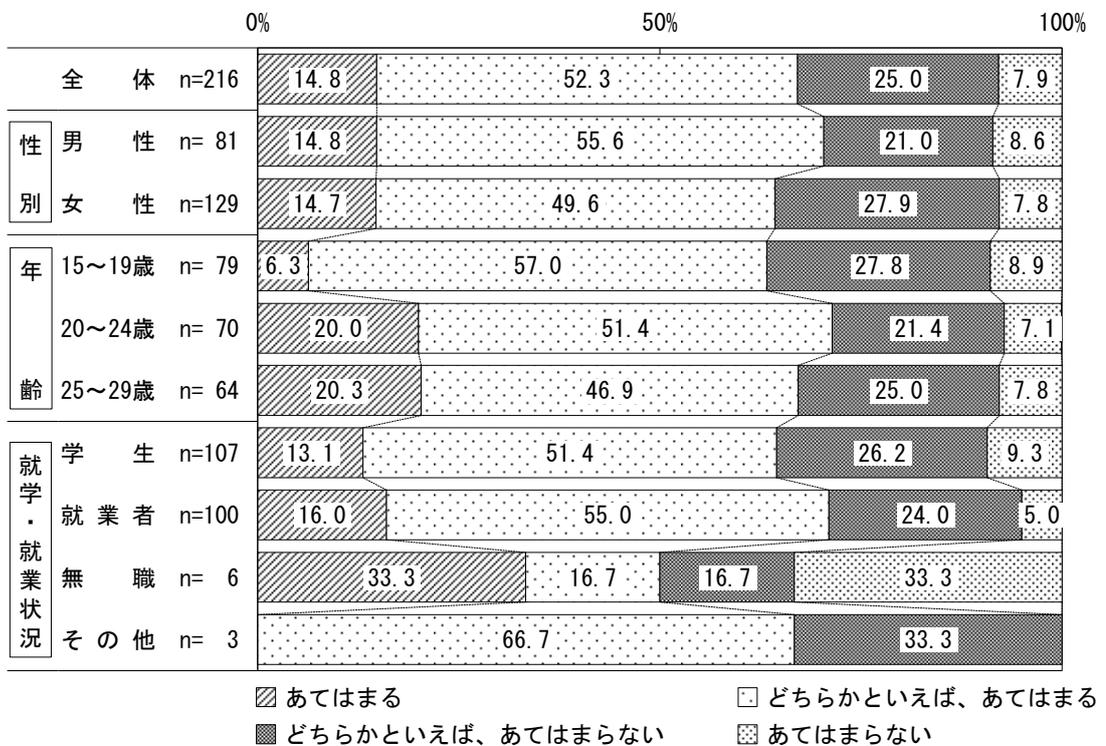
② 自分は他の人から必要とされていると感じる

「どちらかといえば、あてはまる」が52.3%と最も高く、「あてはまる」(14.8%)との合計《あてはまる》が67.1%を占めています。「どちらかといえば、あてはまらない」(25.0%)と「あてはまらない」(7.9%)の合計《あてはまらない》は32.9%です。

性別にみると、男性は女性に比べ《あてはまる》が6.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《あてはまる》が低くなっています。

図表12 自分は他の人から必要とされていると感じる



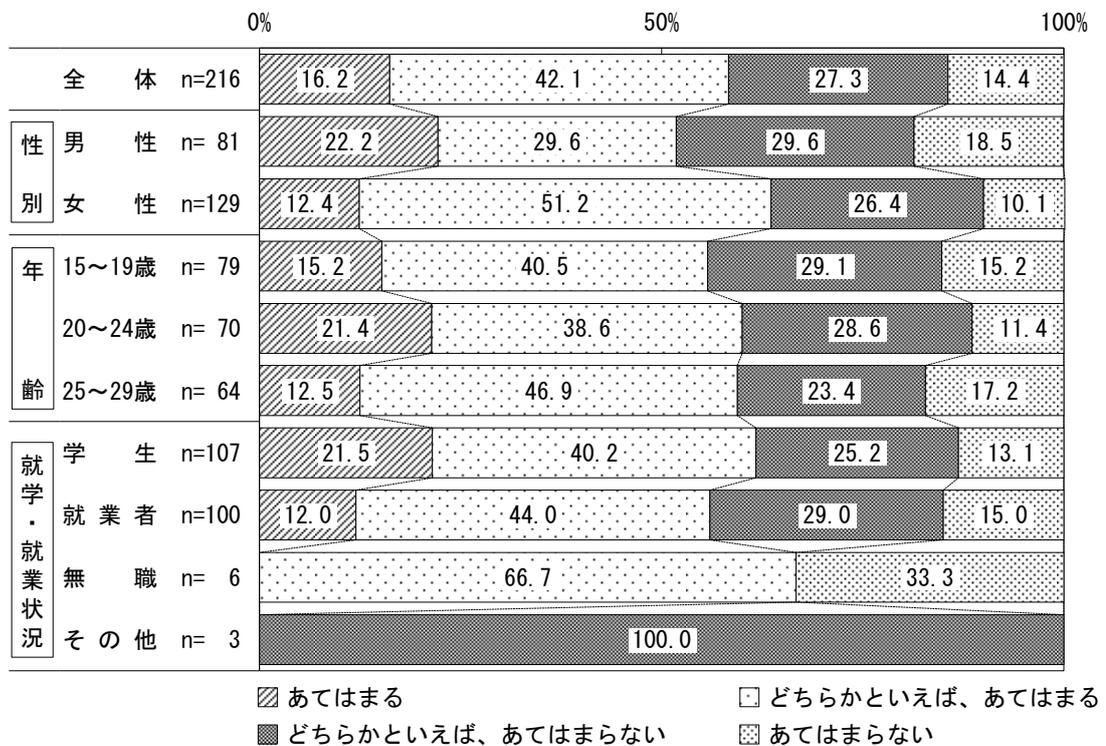
③ 自分の将来について明るい希望を持っている

「どちらかといえば、あてはまる」が42.1%と最も高く、「あてはまる」(16.2%)との合計《あてはまる》が58.3%となっています。「どちらかといえば、あてはまらない」(27.3%)と「あてはまらない」(14.4%)の合計《あてはまらない》は41.7%です。

性別にみると、女性は男性に比べ《あてはまる》が11.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《あてはまる》が低くなっています。

図表13 自分の将来について明るい希望を持っている



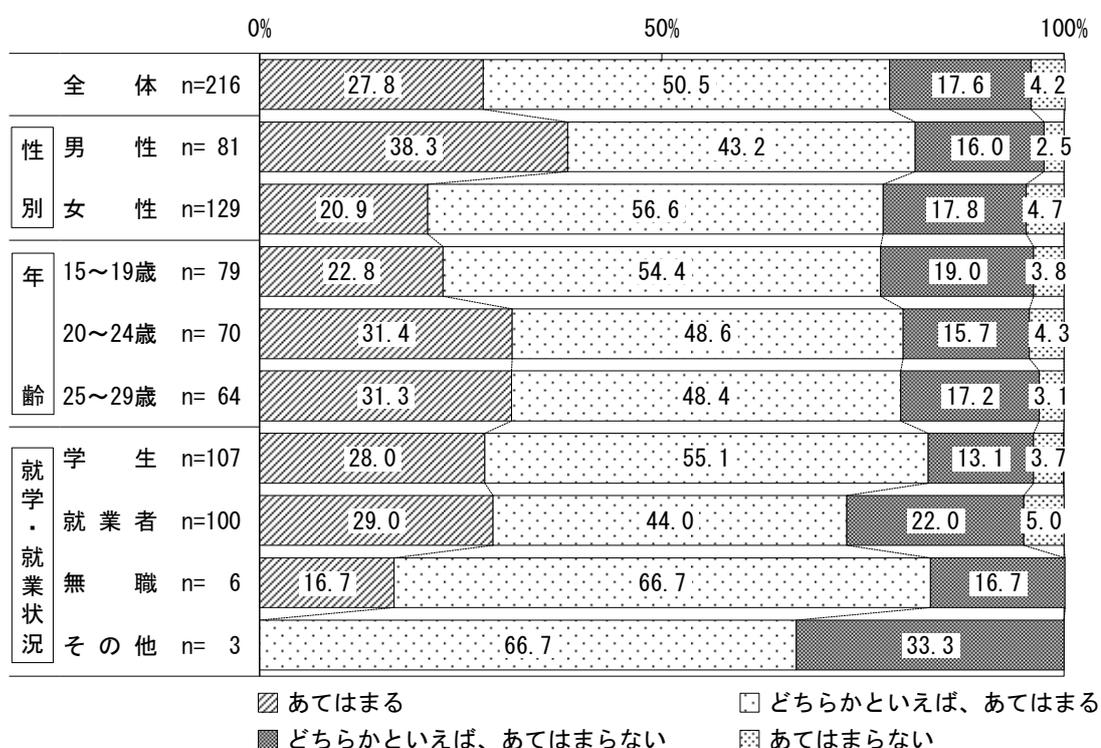
④ いろいろなことに積極的に取り組みたい

「どちらかといえば、あてはまる」が50.5%と最も高く、「あてはまる」(27.8%)との合計《あてはまる》が78.3%を占めています。「どちらかといえば、あてはまらない」(17.6%)と「あてはまらない」(4.2%)の合計《あてはまらない》は21.8%です。

性別にみると、男性は女性に比べ「あてはまる」が17.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《あてはまる》がやや低くなっています。

図表14 いろいろなことに積極的に取り組みたい



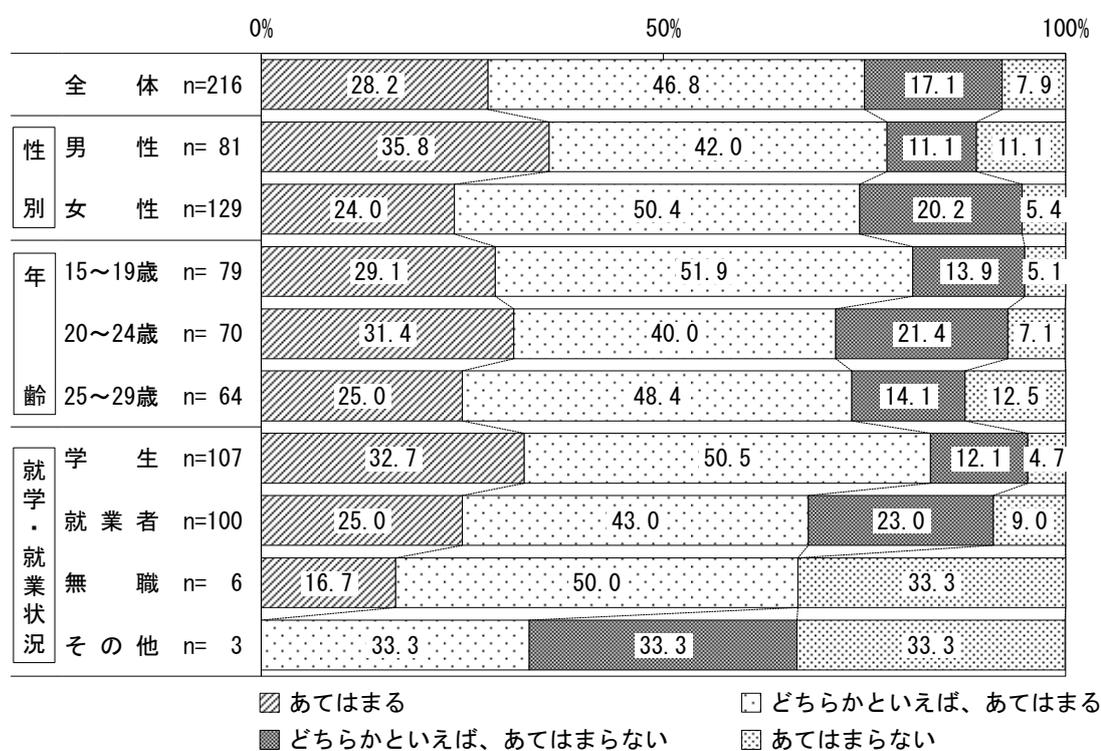
⑤ 社会のために役に立つことをしたい

「どちらかといえば、あてはまる」が46.8%と最も高く、「あてはまる」(28.2%)との合計《あてはまる》が75.0%を占めています。「どちらかといえば、あてはまらない」(17.1%)と「あてはまらない」(7.9%)の合計《あてはまらない》は25.0%です。

性別にみると、男性は女性に比べ「あてはまる」が11.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《あてはまる》が高くなっています。

図表15 社会のために役に立つことをしたい



3 居場所について

(1) 居場所になっていると思う場所について

次の①～⑥の場所について、居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていると思うかたずねました。

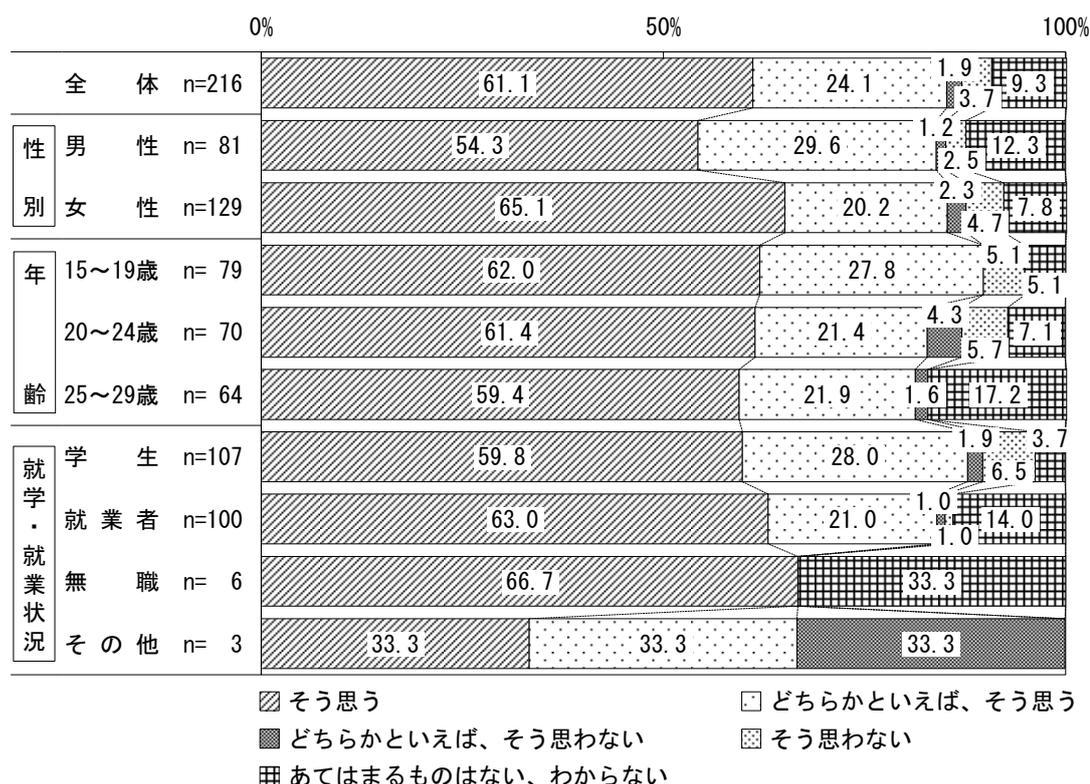
① 自分の部屋

「そう思う」が61.1%と最も高く、「どちらかといえば、そう思う」（24.1%）との合計《思う》が85.2%を占めています。「そう思わない」（3.7%）と「どちらかといえば、そう思わない」（1.9%）の合計《思わない》は5.6%です。

性別にみると、女性は男性に比べ「そう思う」が10.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は《思う》が約90%を占めており、年齢が上がるにしたがい低下しています。

図表16 居場所になっているか（自分の部屋）



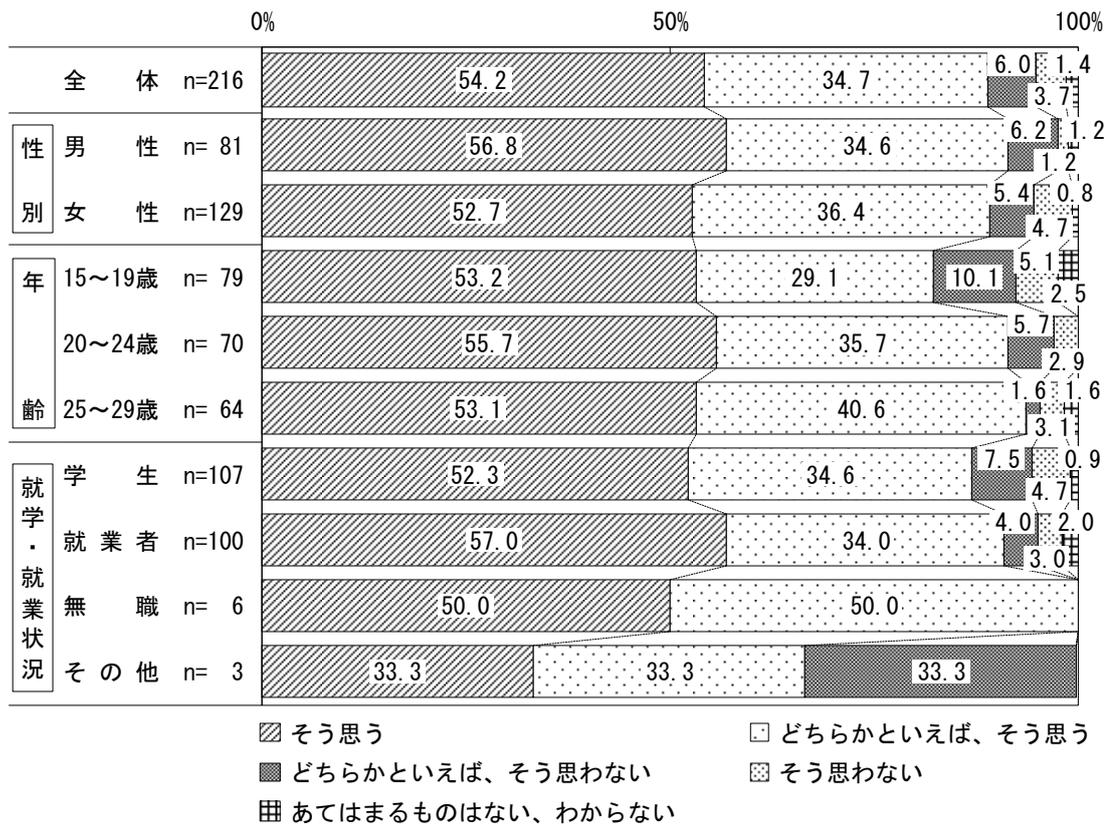
② 家庭（実家や親族の家を含む）

「そう思う」が54.2%と最も高く、「どちらかといえば、そう思う」（34.7%）との合計《思う》が88.9%を占めています。「どちらかといえば、そう思わない」（6.0%）と「そう思わない」（3.7%）の合計《思わない》は9.7%です。

性別にみると、男性は女性に比べ《思う》が2.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べ《思う》が低くなっています。

図表17 居場所になっているか（家庭）

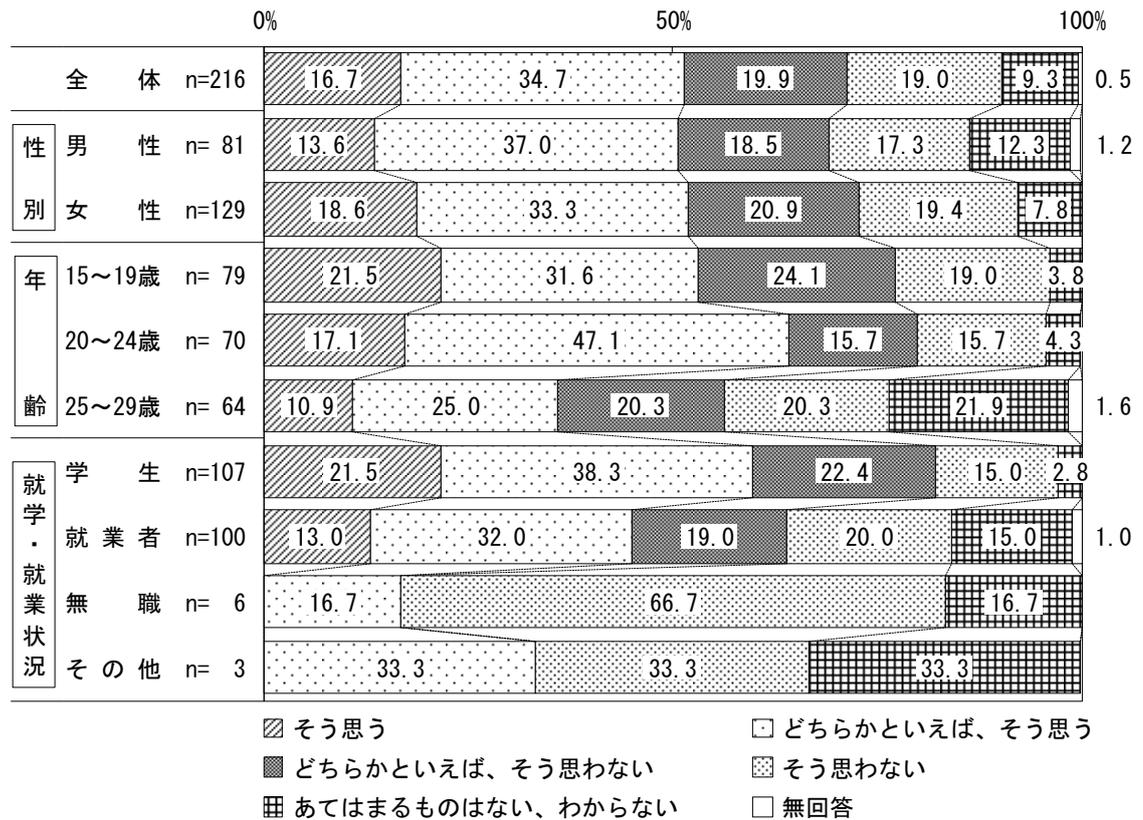


③ 学校（卒業した学校を含む）

「どちらかといえば、そう思う」が34.7%と最も高く、「そう思う」（16.7%）との合計《思う》が51.4%となっています。「どちらかといえば、そう思わない」（19.9%）と「そう思わない」（19.0%）の合計《思わない》は38.9%です。

性別にみると、女性は男性に比べ《思わない》が4.5ポイント高くなっています。年齢別にみると、20～24歳は他の年齢層に比べ《思う》が高くなっています。

図表18 居場所になっているか（学校）



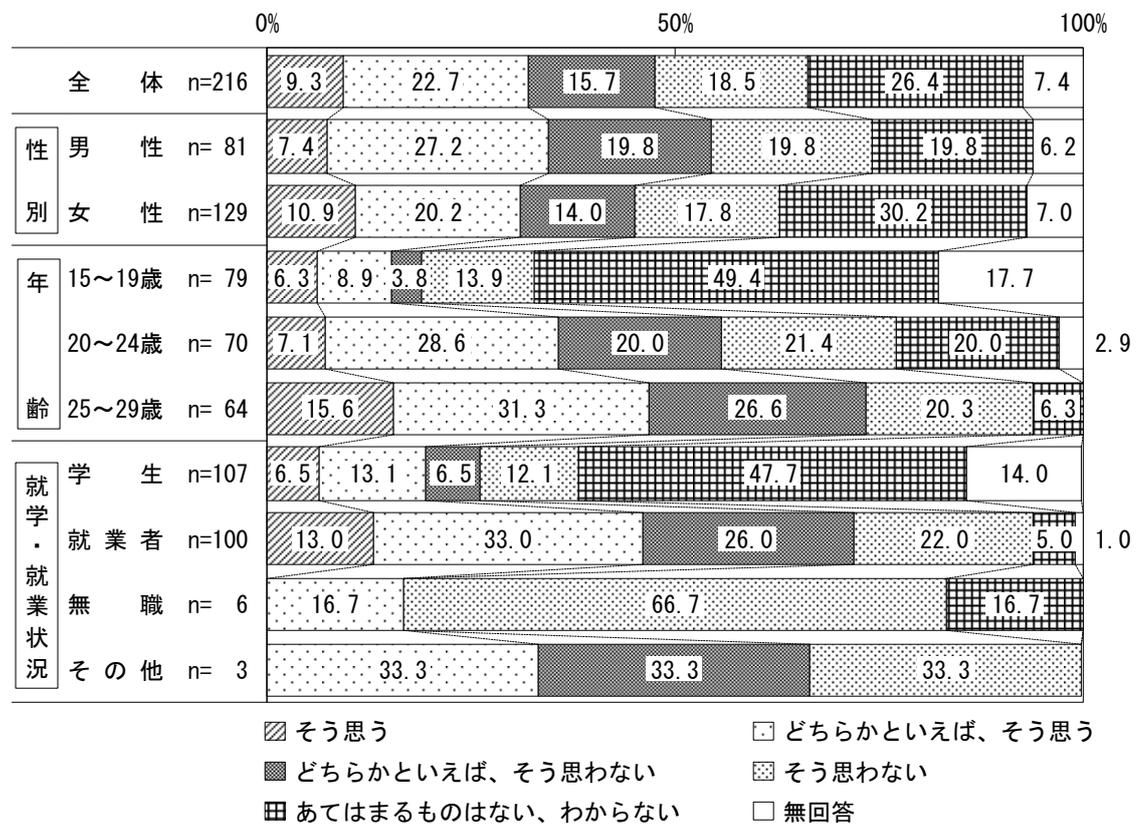
④ 職場（過去の職場を含む）

「どちらかといえば、そう思う」（22.7%）と「そう思う」（9.3%）の合計《思う》は32.0%、「そう思わない」（18.5%）と「どちらかといえば、そう思わない」（15.7%）の合計《思わない》は34.2%です。

性別にみると、男性は女性に比べ《思わない》が7.8ポイント、《思う》が3.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにしたがい《思う》と《思わない》がともに上昇していますが、15～19歳および20～24歳は《思う》に比べて《思わない》が高くなっている一方、25～29歳はどちらも46.9%と同じ率になっています。

図表19 居場所になっているか（職場）



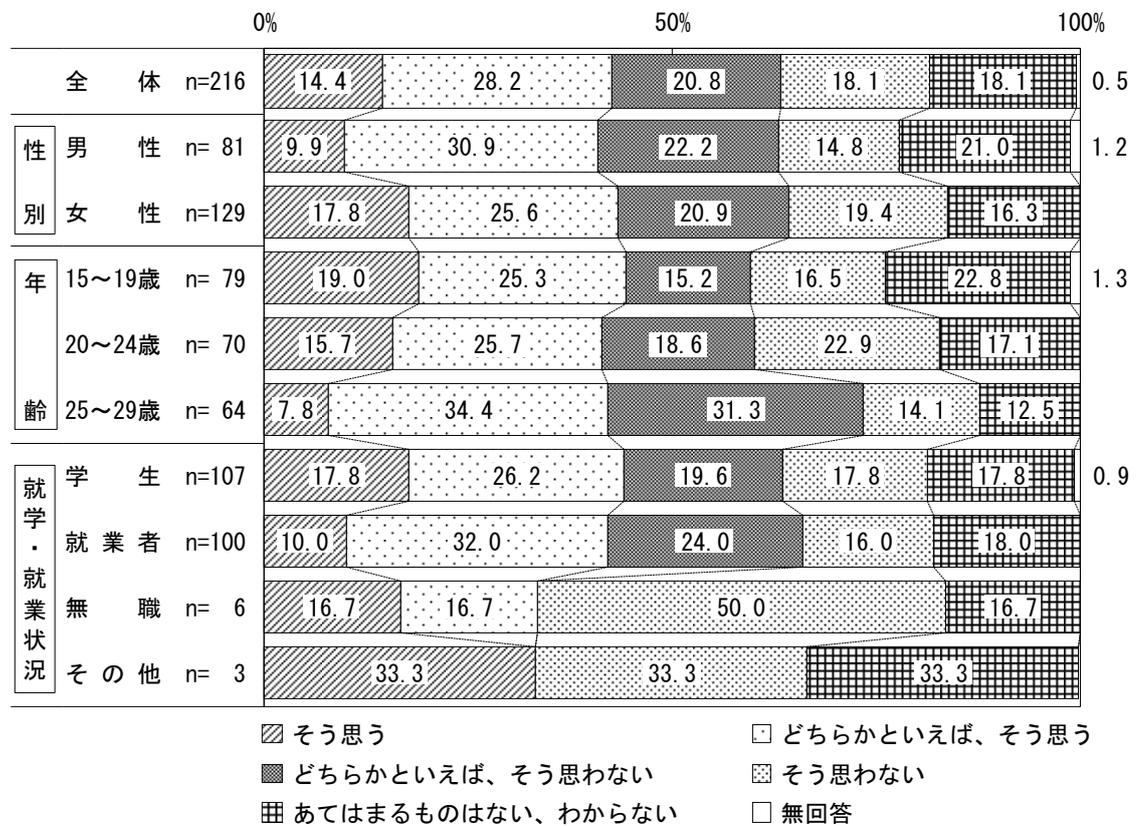
⑤ 地域（図書館、公民館、公園など、現在住んでいる場所やそこにある施設）

「どちらかといえば、そう思う」が28.2%と最も高く、「そう思う」（14.4%）との合計《思う》が42.6%となっています。「どちらかといえば、そう思わない」（20.8%）と「そう思わない」（18.1%）の合計《思わない》は38.9%です。

性別にみると、女性は男性に比べ《思わない》が3.3ポイント、《思う》が2.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい《思わない》が上昇しています。

図表20 居場所になっているか（地域）



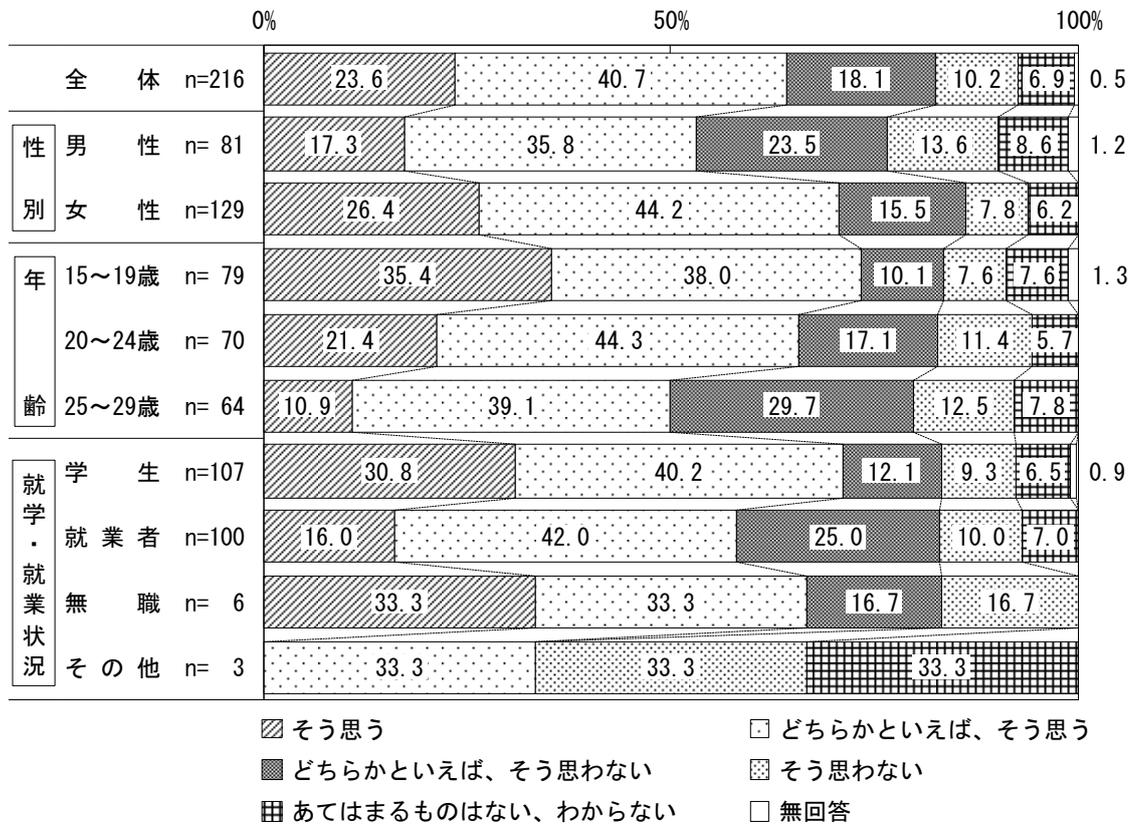
⑥ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

「どちらかといえば、そう思う」が40.7%と最も高く、「そう思う」（23.6%）との合計《思う》が64.3%を占めています。「どちらかといえば、そう思わない」（18.1%）と「そう思わない」（10.2%）の合計《思わない》は28.3%です。

性別にみると、女性は男性に比べ《思う》が17.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい《思う》が低下し、《思わない》が上昇しています。

図表21 居場所になっているか（インターネット空間）



(2) どのような居場所があれば行ってみたいか

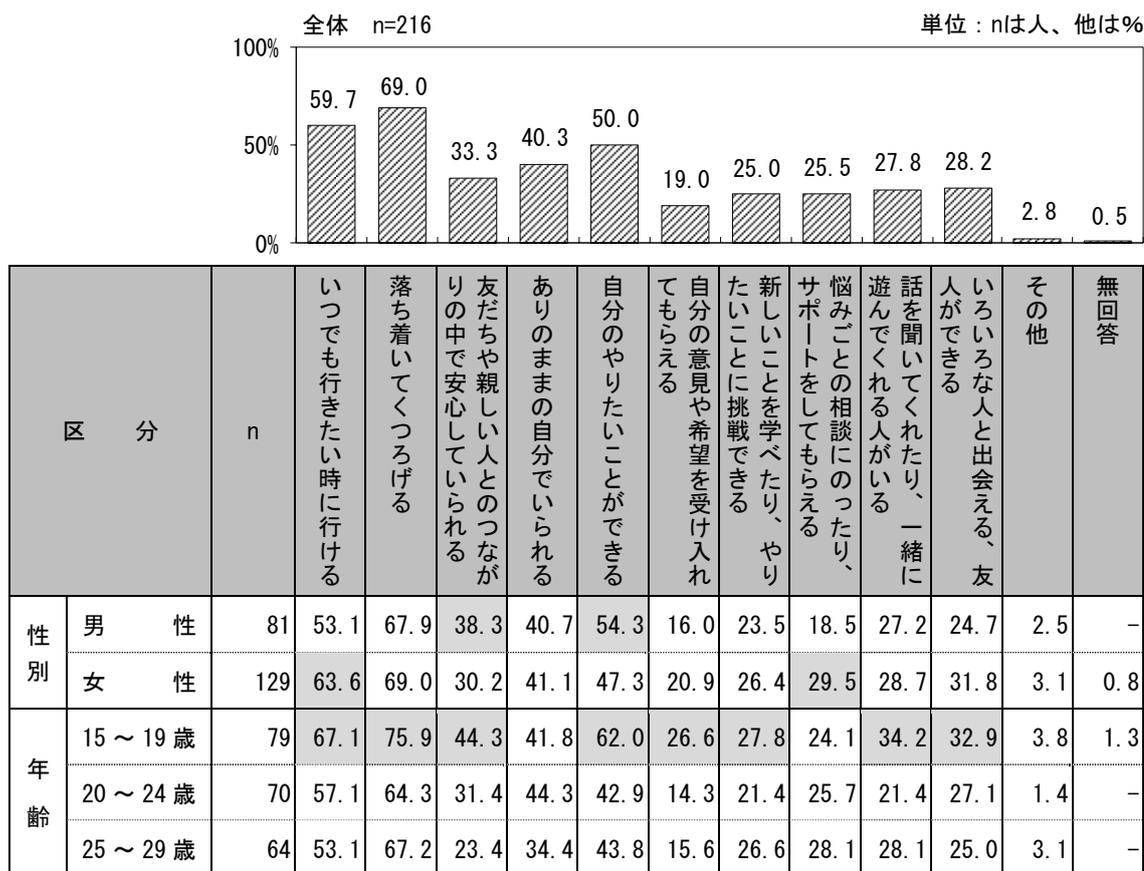
家庭、学校、職場以外にどのような居場所があれば行ってみたいと思うかたずねたところ、「落ち着いてくつろげる」が69.0%と最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」が59.7%、「自分のやりたいことができる」が50.0%などの順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べ「友達や親しい人とのつながりの中で安心してられる」および「自分のやりたいことができる」が5ポイント以上高くなっています。一方、女性は男性に比べ「いつでも行きたい時に行ける」および「悩みごとの相談にのったり、サポートをしてもらえる」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳は他の年齢層に比べて全般的に高くなっています。

「その他」として、図表24の内容が記載されていました。

図表23 どのような場所があれば行ってみたいか（複数回答）



図表24 どのような場所があれば行ってみたいか（複数回答、その他）

- ・一人でいられる空間
- ・静かに自習できる場所
- ・誰も干渉してこない場所
- ・自分と共通の趣味を持った人がたくさんいるところ

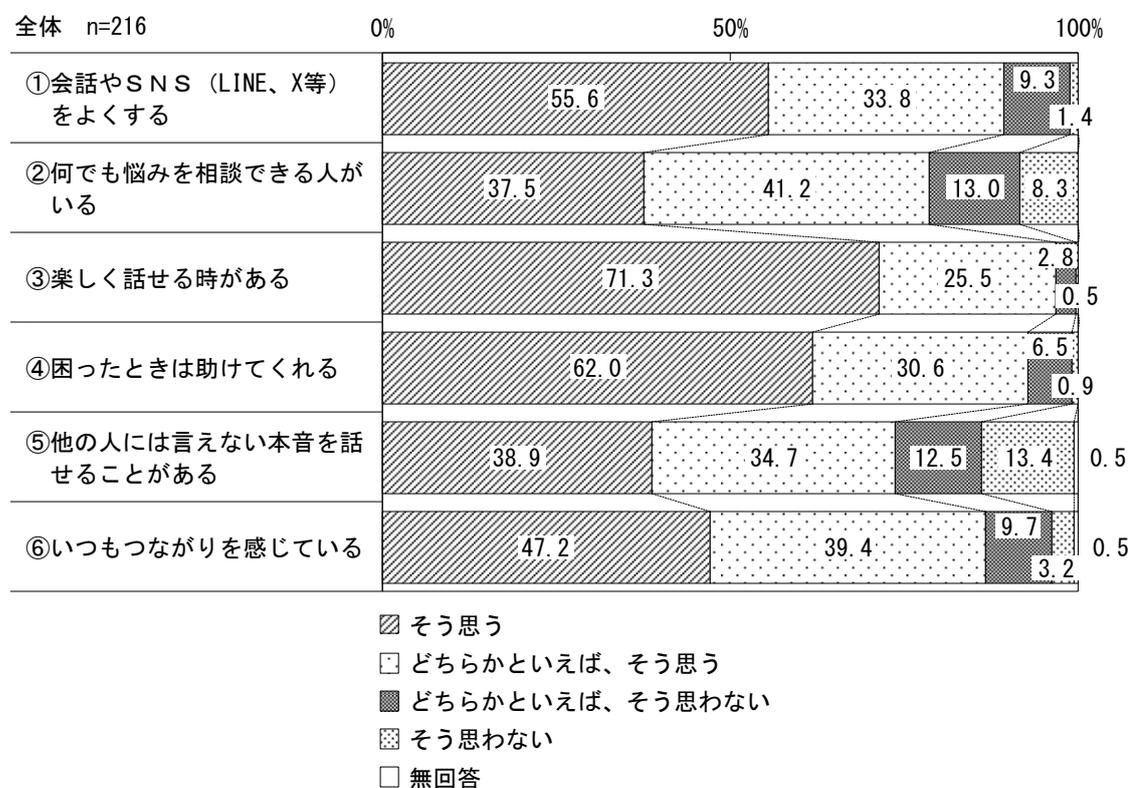
4 人とのかかわり

(1) 家族・親族とのかかわり

家族・親族と、次の①～⑥のかかわりがあると思うかたずねました。

《思う》（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、『③楽しく話せる時がある』が96.8%と最も高く、次いで『④困ったときは助けてくれる』が92.6%、『①会話やSNS（LINE、X等）をよくする』が89.4%などの順となっています。《思う》が最も低いのは『⑤他の人には言えない本音を話せることがある』の73.6%ですが、いずれの項目においても70%以上を占めています。

図表25 家族・親族とのかかわり

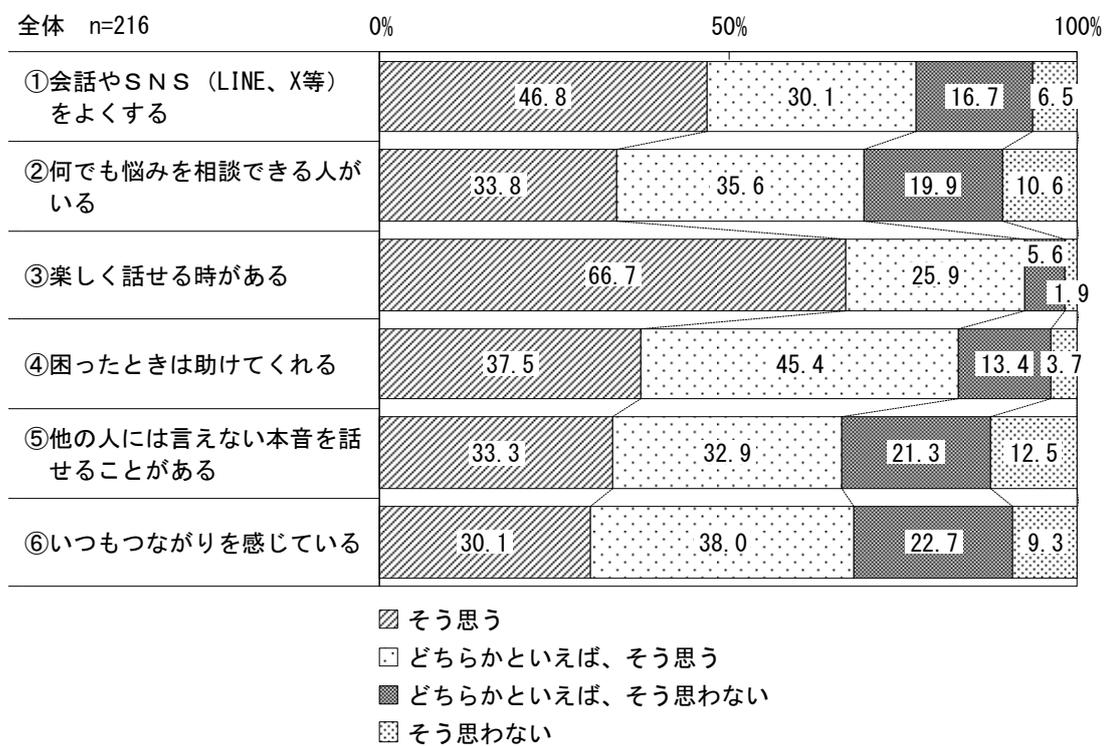


(2) 学校で出会った友人とのかかわり

学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、次の①～⑥のかかわりがあると思うかたずねました。

《思う》（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、『③楽しく話せる時がある』が92.6%と最も高く、次いで『④困ったときは助けてくれる』が82.9%、『①会話やSNS（LINE、X等）をよくする』が76.9%などの順となっています。《思う》が最も低いのは、『⑤他の人には言えない本音を話せることがある』の66.2%です。

図表26 学校で出会った友人とのかかわり

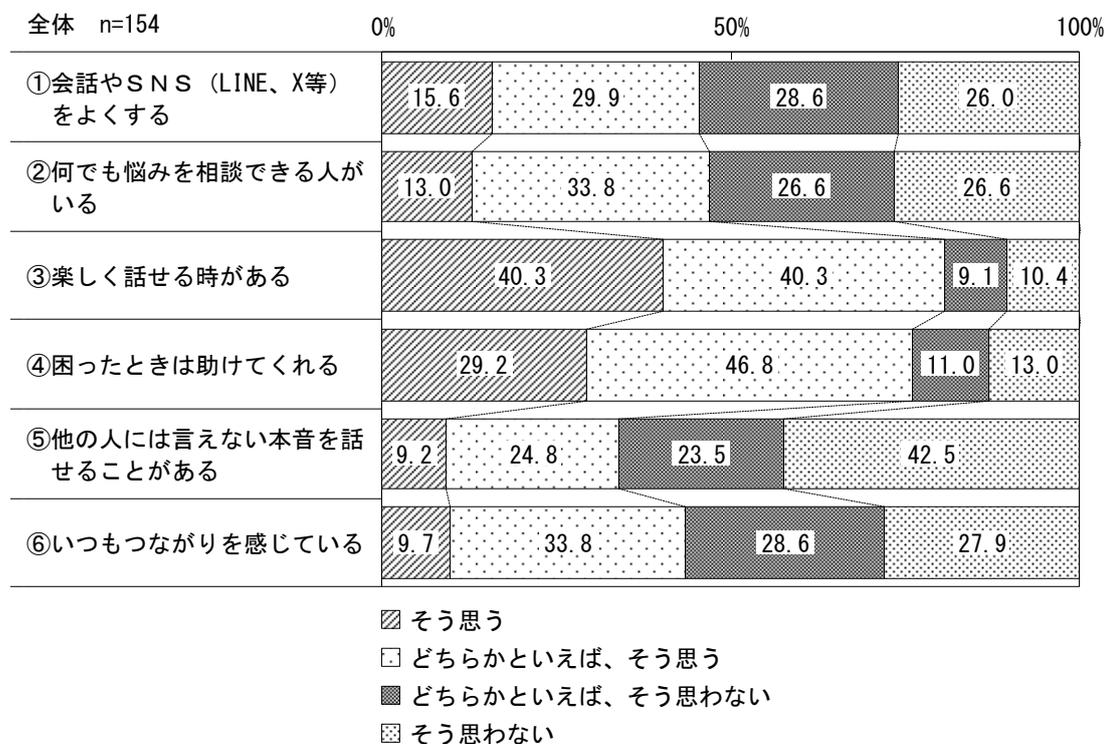


(3) 職場・アルバイト関係の人とのかかわり（就労経験がある人のみ）

働いている人、または働いていた人に、職場・アルバイト関係の人（現在および過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、次の①～⑥のかかわりがあると思うかたずねました。

《思う》（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）は、『③楽しく話せる時がある』が80.6%と最も高く、次いで『④困ったときは助けてくれる』が76.0%などの順となっている一方、その他の項目については《思わない》（「どちらかといえば、そう思わない」＋「そう思わない」）が《思う》を上回っており、特に『⑤他の人には言えない本音を話せることがある』は《思わない》が66.0%を占めています。

図表27 職場・アルバイト関係の人とのかかわり

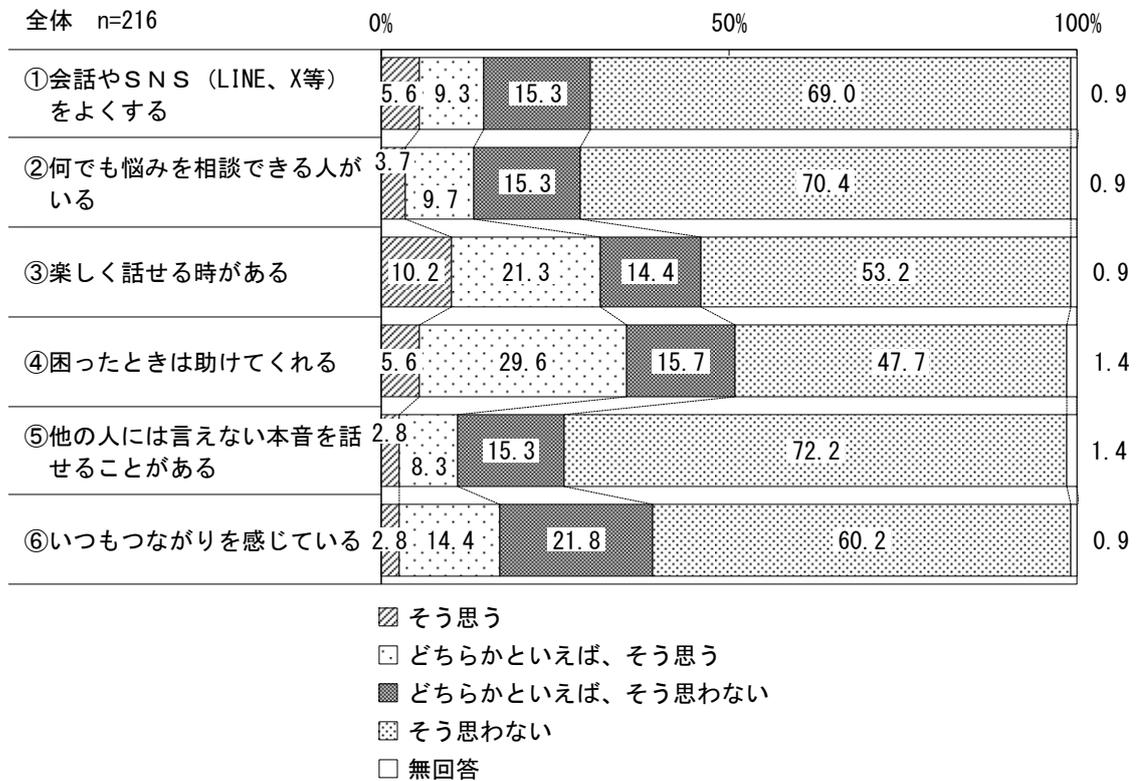


(4) 地域の人とのかかわり

地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）と、次の①～⑥のかかわりがあると思うかたずねました。

いずれの項目においても《思わない》（「どちらかといえば、そう思わない」＋「そう思わない」）が《思う》（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）を上回っており、『①会話やSNS（LINE、X等）をよくする』『②何でも悩みを相談できる人がある』『⑤他の人には言えない本音を話せることがある』『⑥いつもつながりを感じている』は《思わない》が80%以上を占めています。

図表28 地域の人とのかかわり

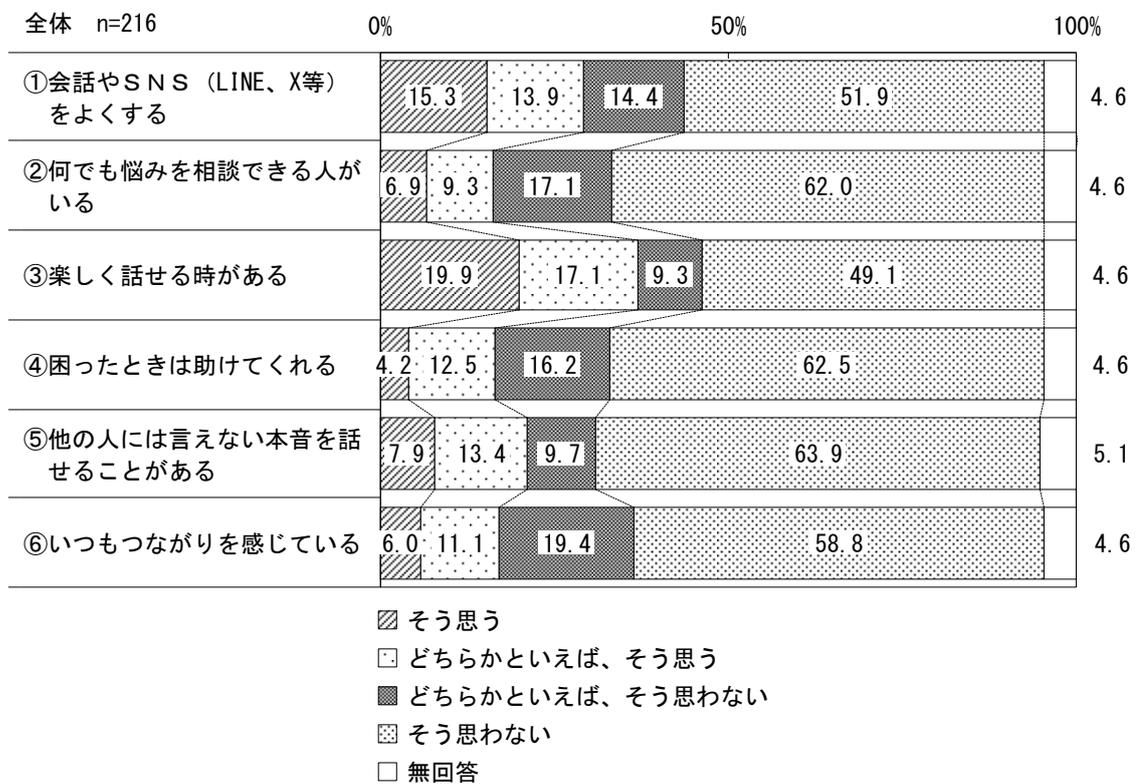


(5) インターネット上における人やグループとのかかわり

インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、次の①～⑥のかかわりがあると思うかたずねました。

いずれの項目においても《思わない》（「どちらかといえば、そう思わない」＋「そう思わない」）が《思う》（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）を上回っています。《思う》は、『③楽しく話せる時がある』が37.0%と最も高く、次いで『①会話やSNS（LINE、X等）をよくする』が29.2%、『⑤他の人には言えない本音話せることがある』が21.3%などの順となっています。

図表29 インターネット上における人やグループとのかかわり

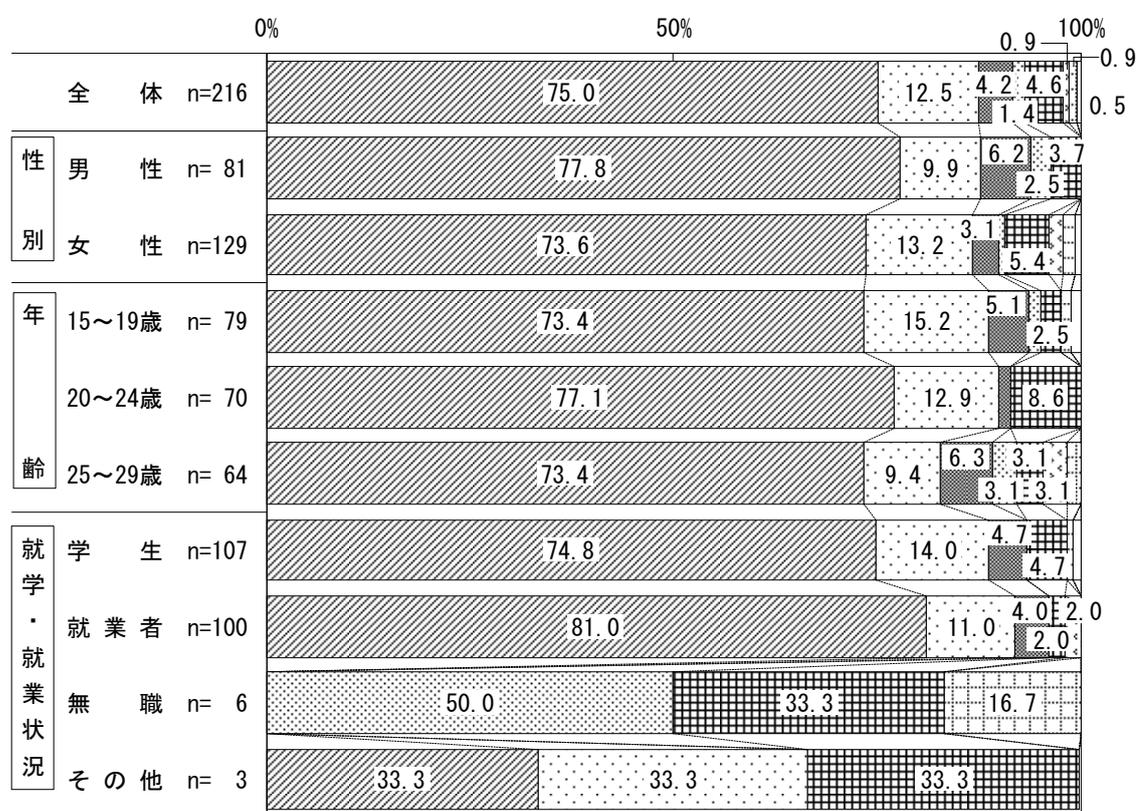


(6) 普段どのくらい外出するか

普段どのくらい外出するかたずねたところ、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が75.0%を占めており、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が12.5%などの順となっています。《普段は外出しない》（「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」+「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」+「自室からは出るが、家からは出ない」+「自室からほとんど出ない」）は6.4%（14人）です。

就学・就業状況別にみると、無職は基数が少ないものの、《普段は外出しない》が50.0%と高くなっています。

図表30 普段どのくらい外出するか



- ▨ 仕事や学校で平日は毎日外出する
- ▩ 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 遊び等で頻繁に外出する
- ▤ 人づきあいのためにときどき外出する
- ▦ 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する
- ▧ 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- ▨ 自室からは出るが、家からは出ない
- ▩ 自室からほとんど出ない
- 無回答

注1：全体以外の2%未満の数値は省略している。

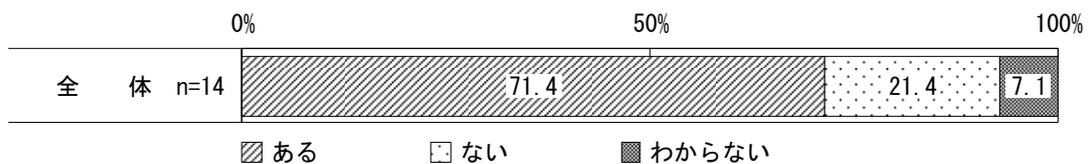
注2：「自宅からほとんど出ない」という選択肢が用意されていたが、回答はなかった。

(7) 外出をしなくなったきっかけ

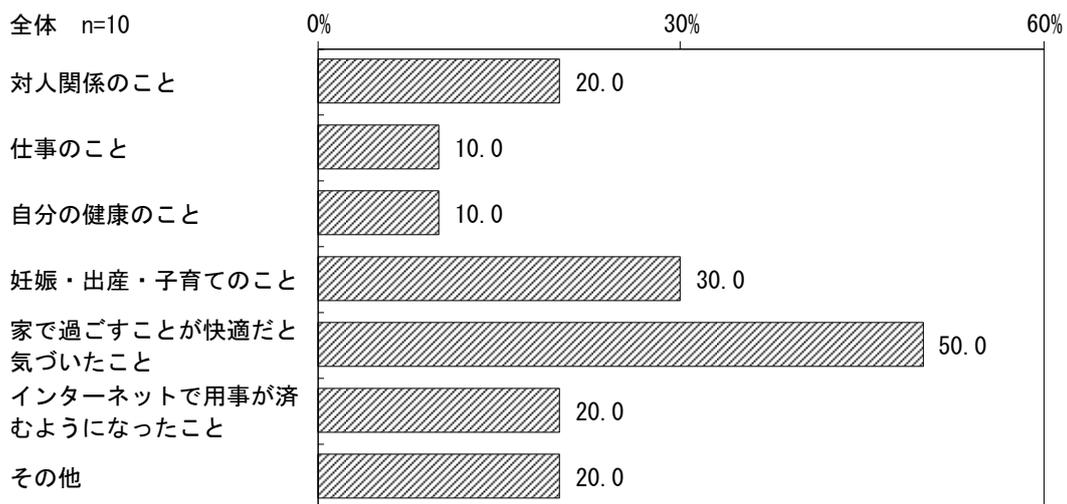
(6)で《普段は外出しない》と回答した人に、外出をしなくなったきっかけがあるかたずねたところ、「ある」は71.4%（10人）、「ない」は21.4%（3人）、「わからない」は7.1%（1人）です（図表31）。

また、「ある」と答えた人にそのきっかけをたずねたところ、「家で過ごすことが快適だと気づいたこと」が50.0%と最も高くなっています。「その他」として、「感染症、熱中症が怖いから」、「暑いから」という記載がありました（図表32）。

図表31 外出をしなくなったきっかけはあるか



図表32 外出をしなくなったきっかけ（複数回答）



注：「勉強（受験）のこと」「恋愛のこと」「家族の健康のこと」「在宅勤務になったこと」という選択肢が用意されていたが、回答はなかった。

(8) 普段から外出をしなくなってからの期間

(6)で《普段は外出しない》と回答した人に、普段から外出をしなくなってどのくらい経つたかたずねたところ、「3年以上」が35.7%と最も高く、次いで「6か月未満」が28.6%などの順となっています。

図表33 普段から外出をしなくなってからの期間



5 こども・若者の意見反映

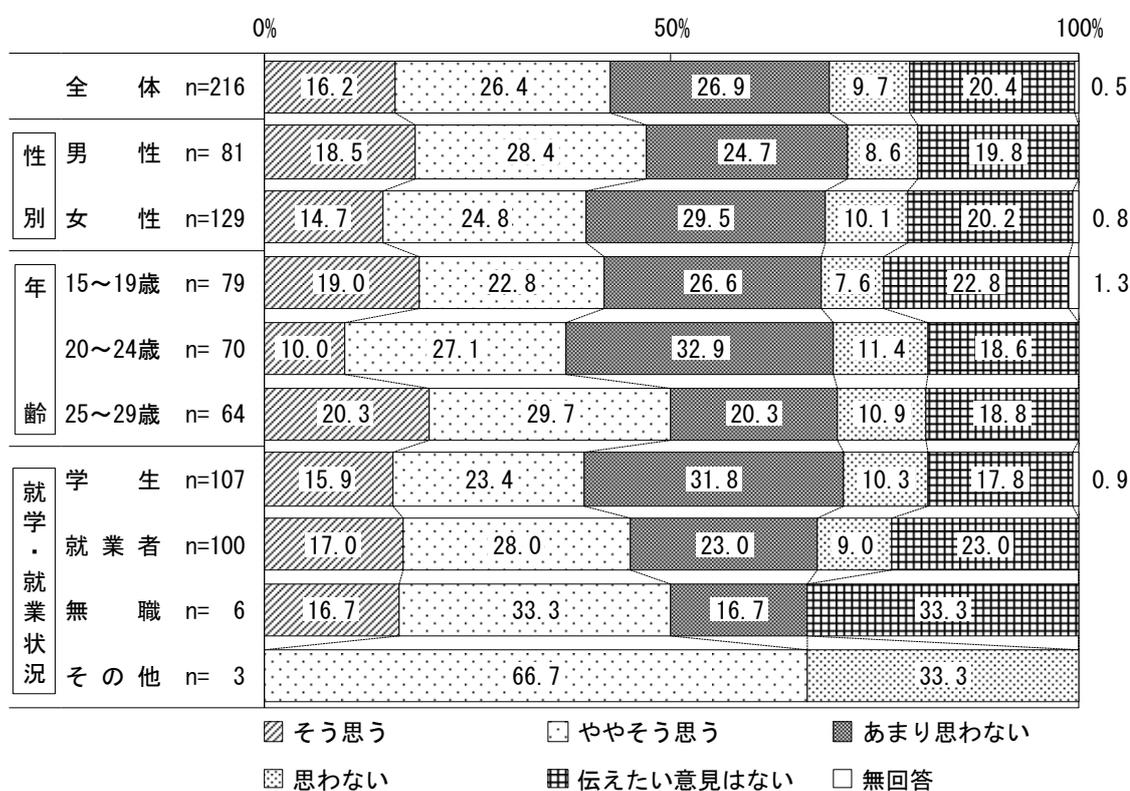
(1) 町行政に対して自分の意見を伝えたいと思ったことはあるか

町行政（役場など）に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことがあるかたずねたところ、「あまり思わない」が26.9%と最も高くなっています。一方、「ややそう思う」（26.4%）と「そう思う」（16.2%）の合計《思う》は42.6%となっており、「あまり思わない」と「思わない」（9.7%）の合計《思わない》の36.6%を上回っています。また、「伝えたい意見はない」は20.4%です。

性別にみると、男性は女性に比べ《思う》が7.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、25～29歳は他の年齢層に比べ《思う》が高くなっています。

図表34 町行政に対して自分の意見を伝えたいと思ったことはあるか



(2) 町に対して意見を伝えやすい方法

町に対して意見を伝えたいと思う方法や手段をたずねたところ、「Webアンケートに答える」が55.6%と最も高く、次いで「SNSを使って伝える」が46.3%、「インターネットのフォーム」が44.9%などの順となっています。

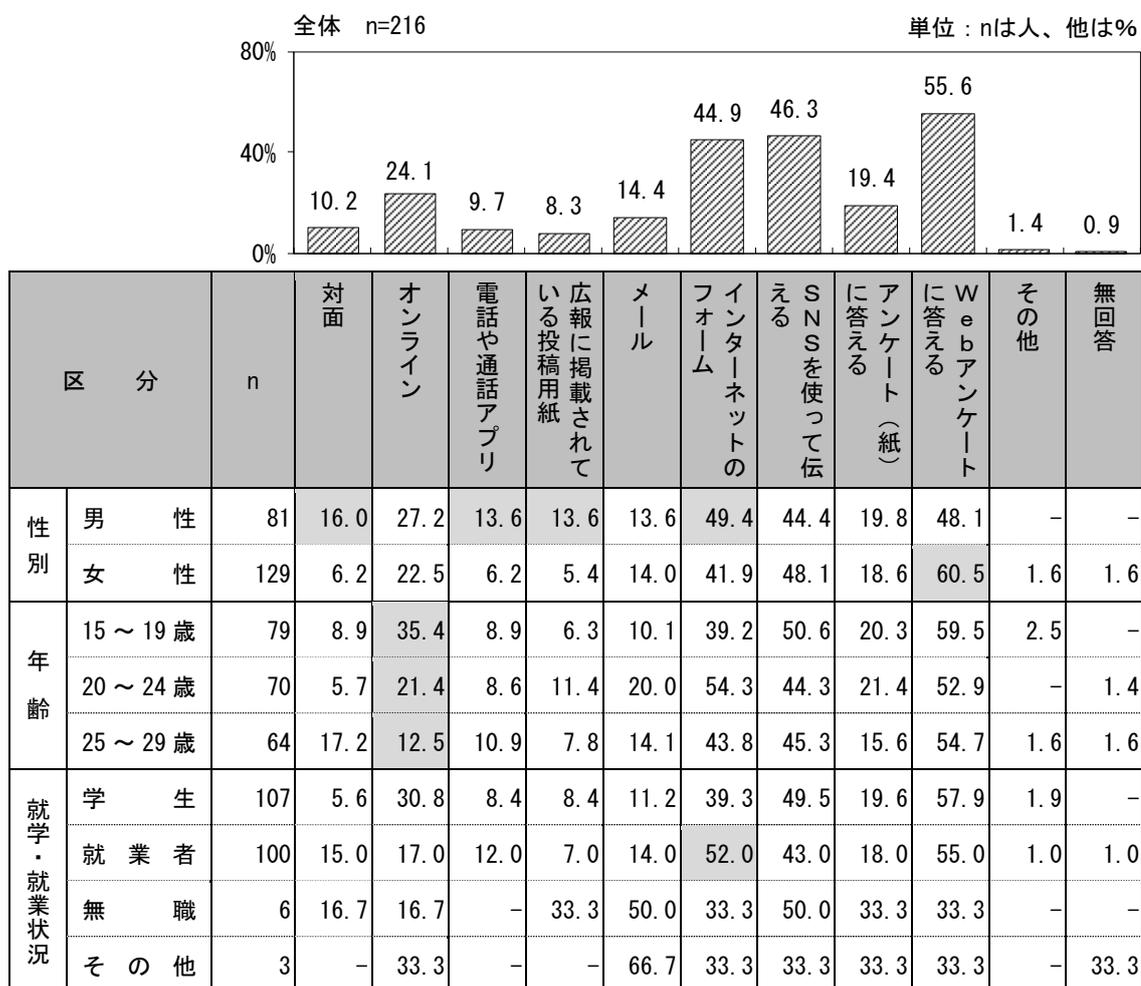
性別にみると、男性は女性に比べ「対面」、「電話や通話アプリ」、「広報に掲載されている投稿用紙」および「インターネットのフォーム」が5ポイント以上高くなっています。一方、女性は男性に比べ、「Webアンケートに答える」が12.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、若い年齢層ほど「オンライン」が高くなっています。

就学・就業状況にみると、就業者は「インターネットのフォーム」が比較的高くなっています。

「その他」として、「学校の授業」、「どんな方法や手段であっても、聞く意思がなければ同じこと」などの記載がありました。

図表35 町に対して意見を伝えやすい方法（複数回答）



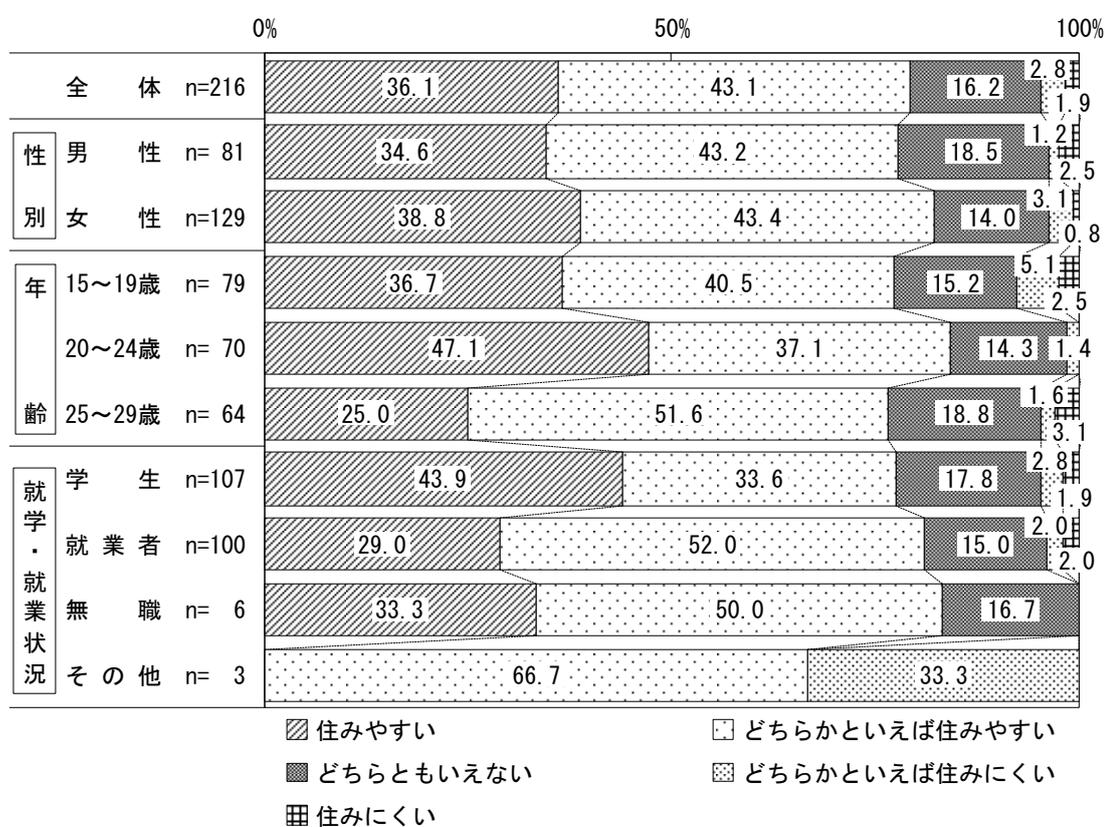
6 住みやすいまちについて

(1) 扶桑町は住みやすいか

扶桑町は住みやすいと思うかたずねたところ、「どちらかといえば住みやすい」が43.1%と最も高く、「住みやすい」(36.1%)との合計《住みやすい》が79.2%を占めています。

《住みやすい》は、性別では女性、年齢別では20～24歳、就学・就業状況では就業者および無職が高くなっています。

図表36 扶桑町は住みやすいか

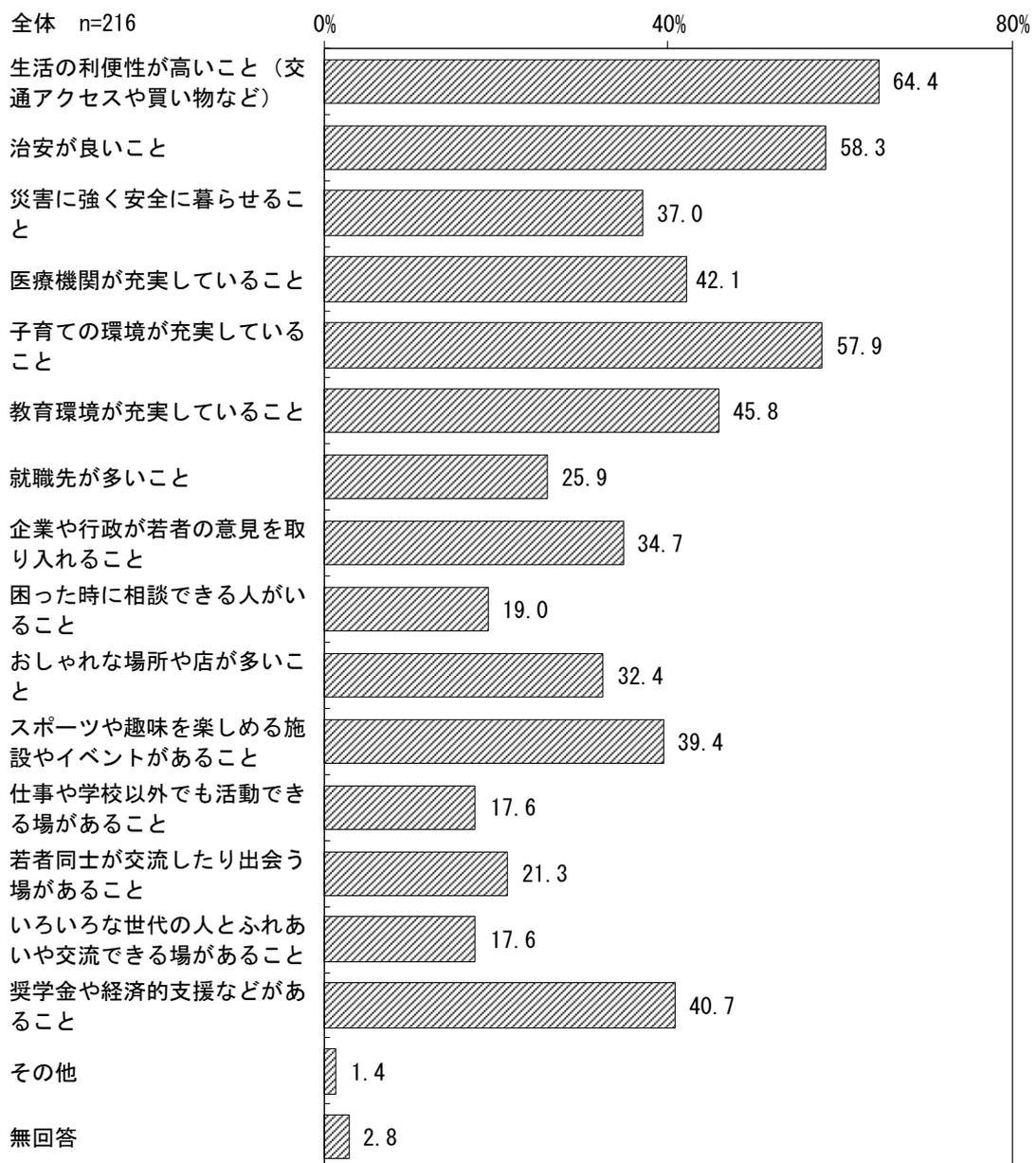


(2) こどもや若者が暮らしやすくなるために必要なこと

「こどもや若者が暮らしやすく、夢がもてるようになるには、扶桑町でどのようなことが必要だと思いますか」という設問については、「生活の利便性が高いこと（交通アクセスや買い物など）」が64.4%と最も高く、次いで「治安が良いこと」が58.3%、「子育ての環境が充実していること」が57.9%などの順となっています。

「その他」として、「こどもの学校教育などがものすごく古いため、それを改善すること」、「税金等で収入から引かれる額が多すぎるので、町独自で減税をしていただく」という記載がありました。

図表37 こどもや若者が暮らしやすくなるために必要なこと（複数回答）



第3章 自由意見

1 行政について

- 扶桑町は全体的に廃れているので、もっと活気のあるお店の誘致や取り組みをしてほしいです。高齢者に優しい世界も必要ですが、私たち若い層の人たちにも優しく、未来に希望が持てるようにしてほしいです。今の時代、あまりにも生きづらすぎます。愚痴のような形になってしまいましたが、私は扶桑町が大好きなので、目を通していただくと幸いです。(女性、15～19歳)
- 子育てとか高齢者の支援も大切だけれど、これから社会に出る人や働いている人たちの支援も同じように大切にしたいと思う。(女性、15～19歳)
- 高齢者ではなく、これから多くを学んで大人になっていく子どもたちと、そのご家庭へどうかご支援を。広がって自転車に乗っている若者、夜間に騒音を立ててバイクで走っている人、高齢者の危険運転をかなり見かけます。注意のアナウンスをお願いしたいです。(男性、20～24歳)
- アイデアではないですが、結婚前は江南市に住んでいました。江南市ではこのようなアンケートはなく、住民の意見を聞くことをしてもらったことがありませんでした。扶桑町に住むようになってから、アンケートや扶桑町独自の給付金など、町民のことを考えて取り組んでいただけることがよくわかり感動しました。このまま扶桑町で子育ても続けていきたいと思っています。(女性、25～29歳)
- このようなアンケートも人件費がかかっているので、しっかりと会議を行って今後に生きる回答がほしいです。(男性、25～29歳)
- 税金を下げる。若者の育成。道路の拡張。経済的支援。交通アクセスの改善。学校等の設備の改善。(男性、25～29歳)
- 役場を建て直すにあたり、三重県いなべ市のにぎわいの森のような施設も併設された、きれいな役場になると嬉しい。(女性、25～29歳)
- 議員数を減らす。70周年のイベント、とてもよかったです。(女性、20～24歳)
- 選挙権をください。(－、15～19歳)

2 子育て支援

- 子育て支援を充実させてほしい。例えば出産費用をゼロにしたり、こどもを産んだら補助金がもらえるなど、もっと産みやすい環境づくりをしてほしい。出産したら出産費、入院費、生活費もかかる現状じゃ、こどもを産みたいと思わない人が多いのもうなずけます。(女性、15～19歳)
- こども⇨お金がかかるというイメージが強く、物価も上がっていく一方でお金に余裕がない人が多いと思うので、子育て支援を手厚くすればいいかなと思います。出生率も低いし、1人目から手厚くしてあげたほうがいいかなとも思います。(男性、25～29歳)
- 子育て支援と扶養支援を手厚くしてほしい。(女性、25～29歳)
- 現在妊娠中で、車がないため通院や買い物が不便。交通バスを通してほしい。役場にももらったマタニティマークの色が薄すぎる。もう少しはっきりした色で反射板タイプだと使いやすい。(女性、25～29歳)
- 未就学児の保育料無償化。(女性、20～24歳)
- 保育料の無償化または補助。(男性、25～29歳)
- 保育園で紙おむつのサブスク導入。(女性、25～29歳)
- 江南市や犬山市は産休育休退園がないのに、扶桑町は退園しなくてはいけない問題をなんとかするべきだと思います。また未満児の需要があるのにも関わらず、ここ数年待機児童がいるというのも改善してほしいです。保育士が足りないなど問題があるのはわかっていますが、預けられる場所がなければ、多くのお母さん達は仕事復帰ができません。世の中は「女性も仕事をしましょう」みたいな流れになっていますが、この状況ではそもそも無理だと思いますので、未満児達の子育て支援にもっと力を入れていただきたいです。(女性、25～29歳)
- 保育園や幼稚園を綺麗に建て替えてほしい。(女性、25～29歳)
- 健常者だけでなく、障害児を受け入れてくれるような取り組みをしてほしいです。きょうだいで同じ保育園や小学校に通いたいです。(女性、25～29歳)
- 外国ルーツのこどもの教育支援。町内には少ないかもしれませんが、少数でも支援は充実させるべきだと思います。(女性、20～24歳)
- こどもが多いが、学校の奨学金の支援があると大学などに行きやすくなり、社会に貢献できるようになると思う。(女性、15～19歳)

3 経済的援助

- 大学生まで医療費無料を希望。(男性、15～19歳)
- 免許取得支援(年齢で区切る、受けたことがない方限定)。(女性、20～24歳)
- 新しいお店を開店する際のサポート。(男性、25～29歳)
- 20代が結婚をする場合、収入に関わらず助成金があるとよい。(女性、25～29歳)
- 町民税、県民税を安くしてほしい。(女性、-)
- 控除。税金を抑えてくれれば若い人たちもお金を気にせず行動しやすいし、結婚にも踏み切ると思う。こどもも持とうと思う。(女性、25～29歳)

4 就労について

- 幅広い分野の仕事に触れることのできる機会がほしい。(男性、20～24歳)
- もっと援助してください。働きやすい環境が不足していると思います。若者が出ていけないまちにしてください。(女性、20～24歳)

5 地域の活性化・交流

- 「まちのコイン」というサービスの導入。(女性、15～19歳)
- 空き家が多いので、他の人に使ってもらえるように解体費の補助などがあると、防犯面でもいいと思います。(女性、20～24歳)
- 若者の間で流行っているものをショッピングモールでpop up開催。(女性、15～19歳)
- 広報誌だけでなく、地域の掲示板にも祭りや体育大会の告知があるとよいと思う。(男性、20～24歳)
- 大人のサークル掲示板。(男性、20～24歳)

6 生活環境

- 歩道の整備。(男性、15～19歳)
- 歩道を整備してほしい。(女性、15～19歳)
- 歩道に畑の草や木々がはみ出ている、車道に出ないと歩けない場所があるので、改善していただきたいです。また、通学路の十字路を右折する際に右側の畑の木が生い茂っていて、さらにミラーもついていないため車が来ていても見えず、危険なので改善していただけると嬉しいです。(女性、15～19歳)

- カーブミラーがあると事故が起こらなさそうだと思う場所がある。(女性、15～19歳)
- ガタガタな道路を綺麗にしてほしい。(男性、15～19歳)
- もっと街灯を増やしてほしい。真っ暗闇で外を歩くのがこわい。(女性、25～29歳)
- 青木川が近くにあるが、草刈りを年1回ではなく2～3回はやってほしい(柏森南保育園近く)。(女性、20～24歳)
- 外来生物の駆除(例:ジャンボタニシ、黄色い花)。家の近くの田んぼで、去年か一昨年頃からジャンボタニシが大繁殖していたり、去年頃から春に用水路や青木川沿いに外来種の黄色い花が咲くようになっていたりしている。(女性、20～24歳)
- 農業における、やむを得ず焼却を行う日を町で指定してほしい。臭いが凄いので窓を開けられない、洗濯物を干せない、それぞれの農家が連続して燃やされるととてもストレスが溜まります。毎月日付を決めて、一斉に行ってもらえるとありがたいです。(女性、15～19歳)
- 粗大ゴミの処分費用が近隣市町と比べて高いので、他の地域と合わせてほしい。(女性、20～24歳)

7 移動・交通

- 通学路にも指定されている比較的狭い道でも、かなりのスピードで走っている車が散見されます。私が小中学生の時から危険を感じるが多々ありました。交通量の多い道もちろん注意が必要ですが、いわゆる裏道として使われている道路も注意していただきたいです。また自転車のマナーも気になります。平気で車道を逆走したり、歩道を並列で走行したりする等、危険な場面が散見されます。今一度学校等で道路交通法について指導するべきだと思います。(男性、25～29歳)
- 巡回バスの運行。(女性、15～19歳)
- バスなどの移動手段を増やす。(女性、15～19歳)
- チョイソコふそうの運行する時間を増やす(土日・夕)。(女性、20～24歳)
- チョイソコふそうの停留所が道路沿いにあると、わざわざ電話をかけなくてもよいと思います。チョイソコふそうの金額が高いと思うので、もう少し安いとどの世代も利用すると思います。コミュニティバスみたいに朝～夕方の運行時間を決めて、せめて30分に一本にする等きちんと決めた方が不満も少なくなると思います。(女性、20～24歳)

- 最近はチョイソコふそうがあるが、難しいと思うが路線バスのようなものをつくること
ができれば、もう少し住みやすくなると思う。(男性、15～19歳)
- 電車について、今あるものだけではなく他の路線も増やしてほしい。(女性、20～24
歳)

8 公共施設

- 新図書館を、子育て支援施設や公民館などが入った複合施設につくる。せっかく図書館
に来たのに帰っていく子をよく見かけるので、自習室の確保。緑地公園のバーベキュー
場をきれいにする。駅にコンビニをつくる。街灯がないところにつける。(女性、20～
24歳)
- 扶桑駅にコンビニなどの便利な店やサービスがほしい。図書館だけでなく勉強できる施
設がほしい。緑地公園にもっと遊具やコート、遊べるスペースをつくってほしい。カフ
ェや居酒屋を増やす。(女性、25～29歳)
- 扶桑駅の近くにコンビニがほしい。今のままだと不便すぎる。自転車置き場を無料にし
てほしい。扶桑駅に快速特急が停まってほしい。山名方面に街灯を増やしてほしい。(女
性、20～24歳)
- みんなが集まれる緑が美しい図書館。(女性、15～19歳)
- 図書館設置とバレーボールができるコート。(男性、15～19歳)
- 扶桑町図書館の自習室の拡充、および設備面での充実をお願いしたいです。(－、15～
19歳)
- 学習できる場所が少ないのでほしいです。児童センターの自習室に行くこともありますが、
小さい子がにぎやかで集中できないなと感じることが多いので、静かに学習できる
場所があるといいなと思います。また、図書館の自習室に予約システムがあると積極的
に利用したいと感じます。(女性、15～19歳)
- 24時間空いていて学習しやすい自習室。(女性、20～24歳)
- 公園設備や小さい子が遊べる設備を整えてほしい。気兼ねなく勉強できる場所や休める
場所がほしい。(女性、20～24歳)
- 公園の整備。手入れされていない土地、用水路などに生えている花粉症の原因となる植
物の伐採。(女性、15～19歳)

- 町民がもう少し運動できる場をつくるのもよいのではないかと思う。例えば、木曾川扶桑緑地公園まで運動しに行くにも自転車か車の2つの手段しかなく、ここでバスがあれば駅からでも行くことができると思うし、町民も過ごしやすいのではないかと思う。(男性、15～19歳)
- 誰でも使えるイベントスペースをつくる。(女性、20～24歳)
- 近年猛暑が続く日が多くなってきています。なので、自動販売機や休憩できるベンチなどがあると、子どもやご老人方も出かけるハードルが低くなるかなと思います。(女性、15～19歳)

9 商業施設

- 娯楽施設の整備。(女性、15～19歳)
- 娯楽施設の増加。(男性、25～29歳)
- 中高生が遊んだり、集まることのできる場が町内にほとんどなく、町外へ行くことが大半のため、行政が場をつくったり、企業を誘致してくださるとありがたいなと思います。(男性、15～19歳)
- 友人と遊べる施設を近場につくる(ボウリングや映画館、カラオケなど)。(男性、15～19歳)
- ドラッグストアが多くて、娯楽施設(映画館、ゲームセンター)、飲食店などが少ないと思うので増やしてほしいです。(男性、20～24歳)
- カラオケなどをつくってほしいです。(女性、15～19歳)
- 映画館をつくってください。巡回バスを通してください。(女性、20～24歳)
- 扶桑駅の改札を出たところにコンビニをつくってほしい。(男性、15～19歳)
- 扶桑駅周辺で、徒歩で行きやすい距離にコンビニ等の店があると助かります。(男性、25～29歳)
- 食べ物のお店がたくさんある場所にできたらいいなと思いました。(女性、15～19歳)

扶桑町 こども・若者の生活実態・意識調査
結果報告書

発行日 令和6年10月

編集 扶桑町 教育部 子ども課

住所 〒480-0102

愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330番地

TEL : 0587-92-4128

FAX : 0587-93-2034